

会長のページ 伝達力不足	河野 雅行	3
COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（4月6日現在）	吉田 建世	4
日州医談 コロナ禍の「新しい生活様式」に対応する 産業保健活動について	瀬ノ口洋史	6
エコー・リレー（549）	柚留木隆憲, 牧田 昌平	9
メディアの目 ウイルスとの戦い	川野 裕和	10
国公立病院だより（宮崎県立こども療育センター）	川野 彰裕	16
宮崎大学医学部だより （宮崎大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター）	山田 直史	18
部会だより（労災部会）	田中 俊正	19
診療メモ 人格（パーソナリティ）障害への対応	直野 慶子	66
宮大医学部学生のページ 2020年度国家試験の結果報告と課題	梶田 凌	68

あなたできますか？（令和元年度医師国家試験問題より）	8
宮崎県感染症発生動向	12
各郡市医師会だより	14
宮崎県医師会創立132周年記念医学会	20
各種委員会（宮崎県医師会医学会役員会）	21
All Miyazaki研修医スタートアップセミナー	22
日医インターネットニュースから	26
医師協同組合だより	28
医師国保組合だより	30
ベストセラー	35
会員の異動・変更報告	36
理事会日誌	44
県医の動き	50
ドクターバンク情報	51
行事予定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あとがき	78

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集	11
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	21
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	25
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	35
医師資格証を持ちましょう	42
医療勤務環境改善支援センター	43
第22回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！	49
日州医事へのご意見・ご感想	55
郡市医師会への送付文書	70

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

風景，北欧

チボリ公園は1843年にデンマーク・コペンハーゲンに建てられた遊園地です。今の遊園地と違って小ぢんまりとしたレトロな感じが歴史を感じさせます。夜になると建物もライトアップされ、お店のイルミネーションも幻想的です。このメリーゴーランドもひっそりと一際輝いていました。ウォルトディズニーも何度もここを訪れ、チボリ公園を参考にしたと言われています。

高千穂町 佐 藤 秀 子

会長のページ

伝達力不足

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

新社会人の誕生する季節です。彼らはまず社会とのコミュニケーションを学ぶ必要に迫られるでしょう。医師も患者さんとの良好な関係を構築するためには伝達力が要求されます。家庭内でさえも不十分であればトラブルになる場合があります。伝達力の基本は、話す（聞く）こと書く（読む）ことです。私の場合、上手に話をするのが子どものころから苦手でした。小学生のころ何かの役をしていて、全校朝礼で報告をしなければならなかったことがありました。その前日会議を欠席したために何の情報も持たずに、当日壇上で文字どおり立往生しました。登壇させられ

たのは欠席した懲罰の意味もあったのでしょうか？ それ以来、人前で話すのが苦手になったようです。現在の学校現場であればそのような懲罰のあり方は問題になるケースかもしれません。歳を経て会議や人前で話すことの多い立場になりましたが、今でも苦手なことばかりを強要されている気がします。これも懲罰の続きでしょうか？ 先輩からは「そのうちに慣れるよ」と言われましたが、登壇したりテレビカメラの前に立つだけで緊張します。あがってしまい内容を突然忘れはしないか、人名や数字を間違わないか等々不安は尽きません。会議では要旨をいかに伝えるか、宮崎弁が出ないかなどと逡巡しているうちにタイミングを外すことがあり残念な思いをしています。個人同士の会話でも上手く伝わらずにもどかしく覚える場合もあります。

文章を書くのも苦手です。作文の宿題は未完成で教室で立たされるのが常でした。改善する目的でまず日記を、と一念発起しましたが3日坊主に終わり、後年日記帳は購入するものの記載なく、最近は購入することすら諦めています。今でこそパソコンできれいな文字が書けますが、自筆のカルテ判読が困難なほど悪筆であるのも執筆が苦手な一因です。文字を練習する大事な少年時代の習字・書道の時間を怠けた報いです。更に、文章にはレベルの低さが表れてその都度恥をかきますので、原稿依頼は可能な限り敬遠しています。しかし、日州医事「会長のページ」は、秦会長に始まり稲倉会長も継続されたもので、私の代で中断はできません。テーマは自由ですが、毎月投稿するのは大変苦痛です。毎回四苦八苦して推敲未了のままで締め切り間近に慌てて投稿しています。ようやく投稿しても安心するのは束の間です。情け容赦なく担当者から次号の督促が届きます。

伝達力を磨くには少年時代の勉強が基本であり、怠けたツケが廻って来たのかなと後悔しています。昨今の学校では伝達力を磨く教育が重視されているようなので、新医師の先生方は問題ないものと思われます。少し文章が飛躍しましたが上手く伝わりましたでしょうか？

(令和3年4月9日)

COVID-19報告



新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（4月6日現在）

宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

新型コロナウイルス感染症は、宮崎県では令和3年3月2日から26日までの25日間新規感染者が0で経過した。全国的には緊急事態宣言がでていた東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県も、3月21日には宣言が解除されたが、新規感染者数は下げ止まりを示し、徐々に増加している。特に、大阪・宮城・沖縄・山形・愛媛などでは感染再拡大がみられ、3月29日には大阪府の吉村知事は「第4波に入った」と表明し、『まん延防止等重点措置』の適用を国に求めた。それを受け、国は4月5日に大阪・兵庫・宮城の3府県に同措置を適用するに至った。全国的にも感染力の強い変異株の感染が多く認められており、若年者にも感染者が増えて、注意が必要である。宮崎県でも3月27日以降、徐々に新規感染者が報告されているところで、4月6日現在はまだ変異株は確認されていないが、注意が必要である。

新型コロナワクチンについては、国のワクチン供給がなかなか進まず、4月12日からは全国的に65歳以上の高齢者のワクチン接種がはじまる予定である。しかし、供給量は少なく、宮崎県ではまだ具体的なスケジュールが決められず、医療者側としても、やきもきしている現状である。

4月6日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 3月18日 新型コロナウイルスワクチン接種に関する知事と市町村および医療関係団体代表者との意見交換会（会長）
- 3月19日 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）



3月18日意見交換会

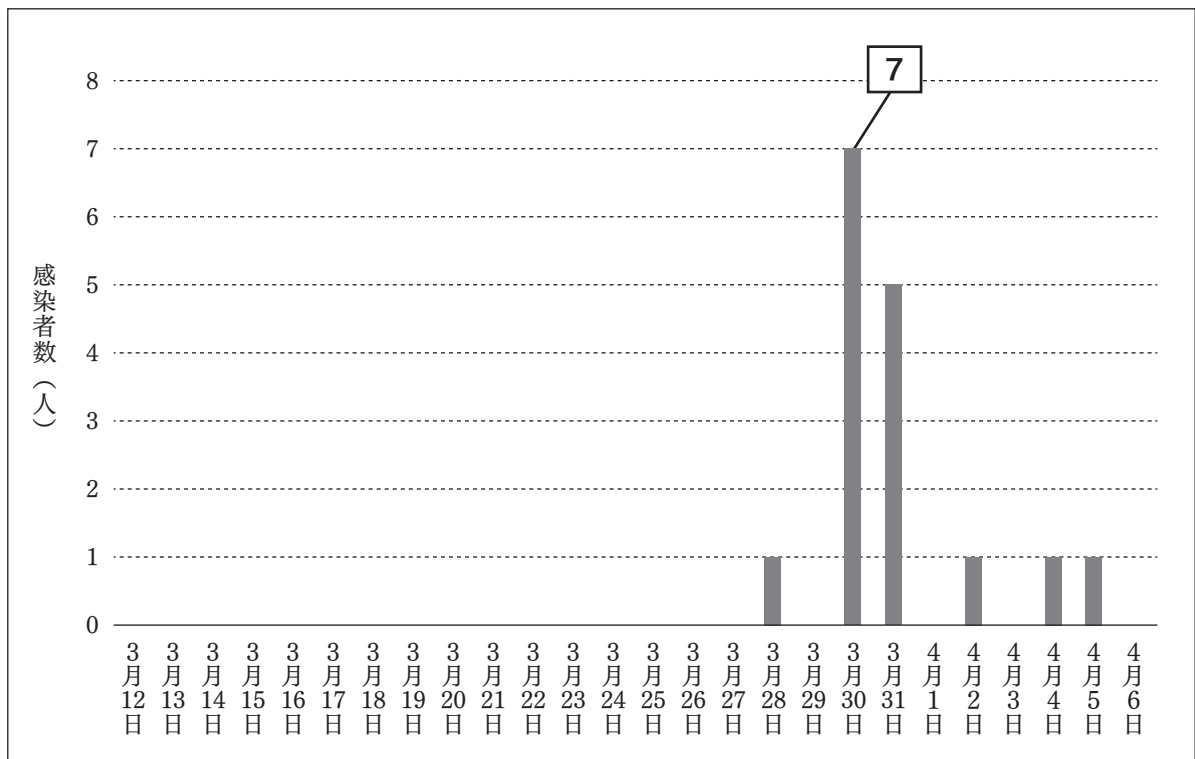
2 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

3月30日	FAXニュースNo.480 新型コロナウイルス感染症への対応について (50) ●積極的な新型コロナ検査をお願いします ●医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業報告書の提出をお願いします
-------	---

3 患者発生状況（公表日）

1) 感染者数（3月12日～4月6日） 16名



新型コロナウイルス感染症対策に関するご寄付・ご寄贈

心より感謝を申し上げます

新型コロナウイルス感染症対策のために県医師会へご寄付・ご寄贈をいただきました。
心より感謝を申し上げます。

3月31日 JA高千穂地区農業協同組合 五ヶ瀬緑製茶 釜炒り茶 100g×5,000袋

日州医談



コロナ禍の「新しい生活様式」に対応する 産業保健活動について

宮崎県医師会 常任理事 ^{せ の くち ひろ し}
瀬ノ口 洋 史

産業医とは、事業場において労働者の健康管理などについて、専門的な立場から指導・助言を行う医師を言います。労働安全衛生法により、一定の規模の事業場には産業医の選任が義務付けられているのは皆さんご存知のとおりと思います。一方、産業保健総合支援センターも、産業医、産業看護職、衛生管理者などの産業保健関係者を支援するとともに、事業場などに対し、職場の健康管理への相談、研修、啓発などを行っています。どちらも事業場にとって従業員の健康管理を行ううえで重要な働きをしているといえます。

2020年はコロナウイルスにより生活様式が一変しました。勤務スタイルも従来の形からリモートワークによる在宅勤務が進み、産業医活動や産業保健総合支援センターの活動も変化に対応しなければなりませんでした。実際リモートワークが進んだことで、産業医や産業保健総合支援センターの業務内容も変化しました。コロナ禍でのオンラインツールが活用される中で、訪問対応が必要となる業務については簡単にオンライン化とはいきません。例えば産業医の仕事の1つである職場巡視は、事業場に赴いて産業医の目で見えて判断し、職場環境の問題点を指摘しなければなりません。リモートによるモニ

ター越しの巡視では気がつかないこと、わからないことが多く、コロナ禍に合わせた職場巡視の実施方法の検討が必要になります。また対面での対応が推奨されるメンタル不調者の面談・対応も同様です。オンラインでできることと、直接確認しなければならないことの整理が、今後コロナ禍での活動には必要となります。コロナ禍で事業場で働く職員のメンタル面、フィジカル面の不調が目に見えづらいことから、より一層の事業場との連携が重要になってきます。

またコロナ禍であるがゆえに感染症対策に傾倒しすぎていることに懸念する声も聞かれます。事業場の疾病予防意識が高まったことを契機に、健康、教育施策を受け入れやすい環境になったことは産業医にとって大変喜ばしいことですが、必要以上に感染予防に神経質になり、過度な感染対策を講じることにより事業場の業務の円滑化を妨げている場合もあります。この環境下で産業医と産業保健総合支援センターの役割が更に重要になってきます。

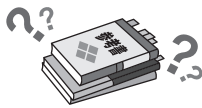
産業医活動については今積極的な情報通信機器を用いた活動について協議がなされているところです。産業医研修会においても令和3年度は限定的ではありますが、試験的にWeb会議などを利用しての研修会が行われる予定になってお

ります。先にも述べたとおり情報通信機器を用いた活動が可能なことについては、積極的に利用することで時間の有効活用などのメリットもあります。しかしメンタル不調者の対応や長時間労働の面談など対面でなければならない対応もあります。

産業保健総合支援センターの活動についても情報通信機器を用いた活動として事業場への研修会や啓発などが有用である反面、治療と仕事の両立支援については対面での相談・指導でなければなりません。事業場において対人距離（ソーシャルディスタンス）を確保することや、食事場所、会議（衛生委員会を含む）、教育研修場所あるいは健康診断での「3つの密」を避ける方法、感染者やその家族および感染リスクの高い業種の従業員などに対する差別・偏見の防止などについて、産業医や産業保健総合支援センターが意見を求められています。緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルス感染症の流行は終息するのではなく、再び次の流行が発生する可能性が高いと考えます。社会経済活動の再開に合わせ、職域において事業を再開する際には、業種や地域による差もあり、一律な方法はありません。そのため事業場は産業医や地域産業保健支援センターの活用をはかり、衛生委員会などを通じて、事業再開に向けて「新しい生活様式」を取り入れた中長期的な感染予防策を検討・実施する必要があると考えます。職場における「新しい生活様式」の具体化には、医学的な面からの妥当性や実行可能性の助言が重要です。また個人には、医学的な面からの必要性も含めた教育や情報の展開も重要です。

コロナ禍により「新しい生活様式」が必要となった今、産業医は、産業保健活動の軸とも言える「衛生委員会」で積極的に事業場とコミュニケーションを図り、事業場との連携を深めることが重要です。情報通信機器を用いた新たな産業医活動はまだまだ始まったばかりです。今後更なる検討・改善を行っていくことが必要になります。

職場巡視など、産業医が直接職場の確認をすることが多い業務については、オンライン化がまだ難しいのが現状です。産業医活動における情報通信機器の利用と対面での活動の両立をいかにうまくやっていくかが今後の課題であると考えます。



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は77ページ)

1. 医薬品医療機器総合機構〈PMDA〉が医療者から収集する副作用・感染症・不具合等の報告に含まれないのはどれか。
 - a 医薬品
 - b 医療機器
 - c 健康食品
 - d 予防接種
 - e 再生医療等製品
2. 維持輸液製剤（組成： Na^+ 35mEq/L, K^+ 20mEq/L, Cl^- 35mEq/L, グルコース5.0%）500mL中に含まれるエネルギー量（kcal）に最も近いのはどれか。
 - a 25
 - b 50
 - c 100
 - d 200
 - e 400
3. 血清LDLコレステロール値が上昇する原因として正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 肝硬変
 - b 1型糖尿病
 - c 吸収不良症候群
 - d 甲状腺機能低下症
 - e ネフローゼ症候群
4. 月経周期におけるホルモン変動と関連がないのはどれか。
 - a 体重
 - b 中間期出血
 - c 乳房緊満感
 - d 透明な頸管粘液
 - e 黄色泡沫状腔分泌
5. 多職種でのチーム医療を妨げる要因はどれか。
 - a 職種独自の略語を使用する。
 - b 患者の家族の希望を傾聴する。
 - c 他職種からの意見を尊重する。
 - d 各職種の専門性が確立している。
 - e 他職種の役割や機能を理解する。
6. 医療機関に通院中の患者が自宅で突然死した場合について、正しいのはどれか。
 - a 死体検案は警察が行う。
 - b 司法解剖には遺族の承諾は必要ない。
 - c 行政解剖には遺族の承諾が必要である。
 - d 最終診察から24時間以内であれば死体検案は必要ない。
 - e 死体検案で異状が認められる場合の届出義務は医療法で規定されている。
7. 精神障害の一次予防はどれか。
 - a 就労移行支援の推進
 - b 病院における先進的治療の促進
 - c 飲酒の害に関する知識の普及活動
 - d 新規抗精神病薬の導入による迅速な症状改善
 - e 新たな脳機能測定方法を用いた精神状態の把握
8. インスリンの作用により血中濃度が低下するのはどれか。3つ選べ。
 - a 尿酸
 - b カリウム
 - c ケトン体
 - d トリグリセリド
 - e 総コレステロール
9. 6歳の女兒。発熱と発疹を主訴に祖父に連れられて来院した。3日前に発熱と咳嗽が出現した。一旦解熱したが、本日から再度発熱し体幹に発疹が出現したため来院した。1週前に家族で麻疹流行地を旅行していたという。鑑別のために最も重要な所見を呈する部位はどれか。
 - a 口唇
 - b 頬粘膜
 - c 眼球結膜
 - d 頸部リンパ節
 - e BCGの接種部位
10. 他の医療機関で異常を認めないと説明された後も、不安が続いている患者が来院した。対応する医師の医療面接における言葉として適切でないのはどれか。
 - a 「あなたの気持ちを聞かせてください」
 - b 「どのような病気を心配されていますか」
 - c 「異常を認めないと言われても不安があるのですね」
 - d 「心配し過ぎるあなたの性格に問題があるように思います」
 - e 「不安をお持ちでしょうが、それでもよく頑張っていますね」

エコー・リレー

(549回)

(南から北へ北から南へ)

腰を抜かす

門川町 田中病院 ゆ る き たか のり
柚留木 隆 憲

ずっと若いころ、スカイダイビングを体験するために海外に行ったことがあります。もともと高所恐怖症なのですが、あのころは何を血迷ったのか機会があっ

たら体験したいと思っていたのです。小さなプロペラ機で約3,500m上空まで上がります。ドアは最初から全開状態で、高度が上がるにつれ気温がどんどん下がります。同時に、吹きさらしの機内で床に座っている私のテンションもどんどん下がっていきます。「えらいことになった。ここから逃げたい」と己の浅はかさをさんざん悔やむのですが後の祭りです。同乗の女性客ふたりは「怖い、怖い」と言いながらも楽しそうです。もうひとりの男性客は表情を強ばらせてじっと前を見ていて余裕がなさそうです。予定の高度に達すると、インストラクターとハーネスでくっついたまま飛び降ります。空中に飛び出す瞬間は恐怖であり覚えていませんが、10秒ちょっと続くフリーフォール中は恐怖感はどこへやら、爽快そのものです。地上に降りたときは「俺はやったぜ」みたいな妙な達成感でいっぱいでした。周りを見ると、例の女性ふたりは飛び跳ねて喜んでいました。もうひとりの男性は四つん這いで移動していたので「よほど怖かったんだな」と気の毒に思うと同時に、ちょっとした優越感を抱きました。さて、私はというと…。立ち上がろうにも立ち上がられません。身体に力が入らないのです。はい。腰が抜けました。

[次回は、宮崎市の國枝 良行先生をお願いします]

最近の興味あること

宮崎市 宮崎若久病院 まき た しょう へい
牧 田 昌 平

最近、家族全員で「ポツンと一軒家」という番組を毎週楽しく見ています。宮崎ではリアルタイムでの放送はなく、ケーブルテレビもしくは見逃し配信無料サイトTVerであれば当日に

視聴可能です。ポツンと一軒家がある場所はほとんどが山合にあり、高齢者（ほぼ後期高齢者）が自ら山の手入れをしながら自給自足的な生活を送ってみたり、趣味のための施設になっていたりとしています。この番組に感化され、私自身も将来の余暇活動の幅を広げるために、唐突ですがパワーショベルの資格を取ろうと思いつきました。資格の取り方を調べてみると、車両系建設機械運転技能講習というものがあり、車両重量が3 t 以上と3 t 未満とで内容が変わります。3 t 以上の場合は5日間みっちりと講習を受ける必要がありますが、3 t 未満（小型車両）の場合は2日間の講習で終わります。全くの初心者なので、とりあえず3 t 未満のコースでの講習を申し込みました。1日目は座学でテキストを見ながらひたすら講師の話を聞くだけで、途中で睡魔に襲われることもありました。2日目はいよいよ実車講習です。いくつかの操作レバーがあり、考えていることと操作レバーの動きがなかなか結びつかずに難渋しましたが、大きなおもちゃで無邪気に遊ぶような感覚で、とてもワクワクしながらの楽しい講習でした。義父が日南に山を所有しており、いずればそこで何かしらの遊び（開拓）ができたら良いなと思っています。

[次回は、宮崎市の榎 英俊先生をお願いします]

メディアの目



ウイルスとの戦い

南日本新聞 宮崎支局長

かわ の ひろ かず
川 野 裕 和

今年の年始から、新型コロナウイルスのいわゆる“第3波”が猛威を振るった。高齢者を中心に重症者が急増。全国各地で緊急事態宣言が出され、昨年春に続き窮屈な生活を強いられた。宮崎県で初めての感染者が確認されたのは昨年の3月4日。それから1年がたつ。しかし振り回される生活に変化はない。

第3波では一時、最大11都府県に国の緊急事態宣言が出され、宮崎県をはじめ独自の緊急宣言を出す自治体も相次いだ。本稿を書いている3月中旬の時点で、全国的に見れば感染状況は下火になりつつある。切り札とされるワクチン接種も始まった。供給スケジュールに不透明さは残るが、順調に接種が進み収束することを祈るばかりだ。

コロナで散々な1年だったが、宮崎県はこの冬、別のウイルスにも苦しめられた。高病原性鳥インフルエンザである。昨年12月から今年2月にかけ、県内4市2町で12例発生。計約92万羽が殺処分された。コロナで痛手を被った県経済に、追い打ちをかけたことは明らかだ。

しかもやっかいなのは、こちらはワクチンのような切り札が見つからない点である。目に見えないウイルスが相手で、感染経路も不明な場合がほとんど。消毒の徹底だけでなく、運び役

とされる小動物が入れるようなわずかな隙間に、注意を払い続けなければならない。今シーズンは例年よりウイルス量が多く、ゴールデンウィークあたりまで警戒が必要だとする専門家の指摘もある。農家のストレスの大きさを考えると言葉もない。

1年前の本稿では、2010年に宮崎県が経験した口蹄疫（こうていえき）にも触れた。同じウイルスとの戦いだったが、県内で飼っていた牛や豚の約4分の1が殺処分された。商業施設の休業なども相次いだ。その結果、県の試算によると、終息までのたった数か月で地域経済に約2,350億円の損失を受けた。

ウイルスとの戦いは、一度起きれば被害が大きい。今回のコロナや鳥インフルで受けた傷は、これまでの比ではないはずである。現状では、沈静化にもうしばらく時間がかかりそうだ。更に傷を広げないためにも、一人ひとりが感染しないよう警戒を怠れない。今回の“第3波”では、県内の医療体制はぎりぎりの運用が求められた。この1年間で学んだ教訓を、今後に生かすべきだろう。（3月9日 執筆）

川野裕和様は、4月1日付で本社へ異動されました。

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7、8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和3年6月25日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便など) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

宮崎県感染症発生動向 ～3月～

令和3年3月1日～令和3年3月28日（第9週～第12週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性7例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1

例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢，血便がみられた。原因菌のO血清型はO26（VT1）であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と70歳代で，いずれもダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，筋肉痛，神経症状，下痢，血小板減少，白血球減少，リンパ節腫脹等がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は50歳代，病型は腸管アメーバ症で，主な症状はみられなかった。

○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の男性で，病型はB型であった。主な症状として，全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，発熱，肝機能異常，黄疸，劇症肝炎がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として敗血症がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症3例：宮崎市，都城，延岡保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳（1例）と60歳代（2例）で，主な症状として発熱，菌血症がみられた。ワクチン接種歴は有り，無し，不明が各1例ずつであった。

○水痘（入院例）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は5～9歳で，主な症状として発熱，発疹，免疫不全がみられ，他疾患入院中の発症であった。また，ワクチン接種歴があった。

○梅毒12例（男性10例，女性2例）：宮崎市（9例），都城，延岡，日向（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は40歳代が7例，20歳代が3例，10歳代と50歳代が各1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が5例，早期顕症梅毒Ⅱ期が4例，無症状病原体保有者が3例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状として胸部異常陰影，中枢神経系病変がみられた。

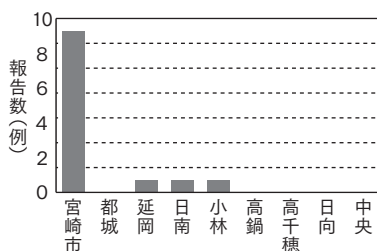


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	1
その他の結核 (結核性胸膜炎, 結核性心膜炎)	4
無症状病原体保有者	5
疑似症患者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	5
90歳代	1

■新型インフルエンザ等感染症

○新型コロナウイルス感染症1例：都城保健所から報告があった。年齢は50歳代で，主な症状として発熱，全身倦怠感がみられた。

■病原体検出情報（微生物部）

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,095人（定点あたり60.1）で，前月の102%，例年の65%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス

	検出病原体	件
細菌	EPEC (OUT:HUT)	3
	EHEC (O153:H21)	1
ウイルス	ヒトヘルペスウイルス 6	1
	ヒトヘルペスウイルス 7	1
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1

感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症であった。

RSウイルス感染症の報告数は727人（20.2）で前月の約1.5倍、例年の約12.4倍であった。中央（46.0）、日南（40.0）、宮崎市（38.3）保健所からの報告が多く、1～3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は993人（27.6）で前月及び例年の約0.8倍であった。都城（60.2）、小林（44.7）、高鍋（23.8）保健所からの報告が多く、1～2歳が全体の約4割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向（2021年3月）

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人（3.4）で、前月比116%と増加した。また、昨年3月（2.6）の129%であった。

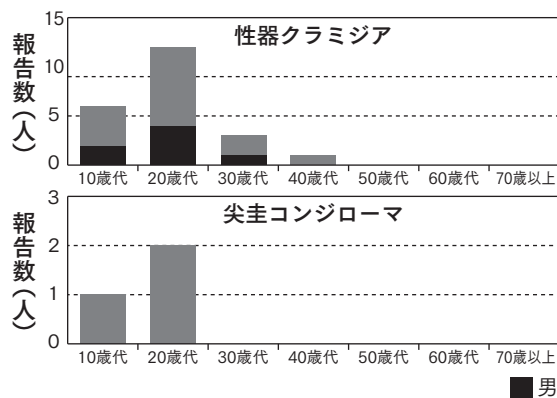
《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で、前月の約1.2倍、昨年3月の約0.9倍であった。10～20歳代が全体の約8割を占めた。（男性7人・女性15人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人（0.85）で、前月の約1.2倍、昨年3月の約2.8倍であった。（男性1人、女性10人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月と同率、昨年3月の3.0倍であった。（女性3人）
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で前月と同率、昨年3月の2.0倍であった。（男性7人、女性1人）

前月との比較

	2021年3月		2021年2月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	727	20.2	470	13.1	★
咽頭結膜熱	45	1.3	53	1.5	
※溶レン菌咽頭炎	187	5.2	197	5.5	
感染性胃腸炎	993	27.6	1,191	33.1	
水痘	14	0.4	10	0.3	
手足口病	10	0.3	34	0.9	
伝染性紅斑	3	0.1	3	0.1	
突発性発しん	92	2.6	79	2.2	
ヘルパンギーナ	3	0.1	7	0.2	
流行性耳下腺炎	7	0.2	3	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	14	2.3	12	2.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人（1.9）で、前月比81%と減少した。また、昨年3月（1.6）の118%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人（1.9）で、前月の約0.8倍、昨年3月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

かつて常識だったことが、非常識に。逆もまた然り。医学界ではままた起こりうることです。2020年以降、非日常が日常へと変わってしまった世界を私達は体験しています。

もしビートルズの存在しないパラレルワールドがあったら、という映画がありました。もしCOVID-19の存在しない世界があったらと考えるのはあまりにも飛躍し過ぎですが、もし日本が第1波の前から厳密な入国規制をしていれば…、もし発生国で封じ込められていたら…、そもそもコウモリのVirusが人間へと感染しなければ…。

当郡内でも大きなクラスターが発生しました。管轄である高鍋保健所の上谷所長（当時）並びに職員の皆様のご尽力、そして会員の先生方の徹底した検査体制をもってしても、早期に封じ込めることは困難でした。せめて、感染力がこれほど強くなかったら、潜伏期間がもう少し短かければ、重症化率がもう少し低ければ、ともつい考えてしまいます。矛（特効薬）がいまだにない丸腰の状態、これからマスクに加えワクチンという盾で立ち向かおうとしています。掲載時には医療従事者への接種を終え高齢者へのワクチン接種が始まるかというタイミングでしょうか。

当郡は新型コロナ対策委員の押川理事を中心に体制を整えつつありますが、ワクチンの供給がどうも後ろ倒しになりつつある、あるいは免疫が得られない変異株出現の可能性、そんな不安を感じます。まだまだ、“The Long and Winding Road”が続くかもしれませんが、きっと“Getting Better”となることを信じたいと思います。それにしても感染防止と経済活動との同時推進が矛盾とならない金科玉条はないのでしょうか？

（永友 淳司）

宮 崎 市 郡 医 師 会

新型コロナ騒動に翻弄されたまま1年が過ぎた。12年前の新型インフルエンザと異なる点は、まだ治療法が確立していないこと、予防接種がようやく始まるも未経験のワクチンであり、供給量に左右され、すでに変異種がいくつか出ていることなどで、さまざまな試練が待ち受けている。この感染症の波紋は医療機関での受診控えをもたらし、夜間急病センターも例外ではない。センターでの受診者数が例年同時期の半分にも満たないままである。それでも毎夜3科の医師が交代で欠かさず当直に入り、一次救急医療機関として医療崩壊を防ぐ役目を担っている点に変わりはない。

（田中 宏幸）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

この号が発刊されるころにはコロナの感染状況はどうなっているのでしょうか。医師会病院

では1月に職員と患者の感染が判明、クラスターと認定され対策班が介入。濃厚接触者として60人が認定され、各病棟でゾーニングなどの対応を余儀なくされました。しかし職員全員の献身的な努力で感染拡大を抑えることができ対策班からも高い評価を受けました。ただ、心ない言葉を掛けられた職員もいて、肉体的、精神的に大変なご苦労をされたと感じています。感染対策が進み一日でも早く昔の普通の生活に戻ることを祈っています。

（濱田 圭一）

延 岡 市 医 師 会

昨年度の学校検診は、緊急事態宣言を受け、9月以降に実施されました。今年度も、年度内に実施すれば良いと言うことですが、児童生徒のことを考えると、なるべく早い時期の実施が望まれます。自粛による運動不足、メンタルの不調なども気がかりで、学校とのより強い連携

が求められます。HPVワクチンは、昨年度、自治体より高校1年生対象に、定期接種である旨の案内がなされ、今後、接種が進むことを期待します。また、新生児聴覚検査も県内最後の延岡で助成が開始され、ほっとしているところです。

(大重 明広)

日向市東臼杵郡医師会

日向市東臼杵郡医師会では4月5日から第2グループの医療従事者に対しワクチン接種が始まる。全医療従事者への接種は5月連休明けの第2週までには終了し、65歳以上の高齢者接種は5月24日から予定している。今のところ集団接種が約6,800人で個別接種は21医療機関で約20,500人が予定されている。問診などで時間がかかることが予想され、個別接種が順調に進むか否か大変気になるところであるが、会員医療機関が連携し8月終了を目指したいと考えています。

(千代反田 晋)

西都市西児湯医師会

医療従事者と高齢者のコロナワクチンの使用用途制限が緩和されたこともあり、西都市では、医療従事者と高齢者のワクチン接種が4月19日より同時開始となります。医師会事務局も日程調整に追われていますが、西都市西児湯医師会、西都児湯歯科医師会（西都地区のみ）、西都地区薬剤師会のご登録いただいた方への接種の目途も立ってきました。多くの先生方のご協力のもと予防接種施策を遂行し、コロナ禍に対峙せねばなりません。当医師会の会員数が増えつつあることは良い兆しと感じております。

(片山 陽平)

南那珂医師会

コロナ禍のなか大変な状態が続いていますが、ようやくワクチン投与が始まって少し明るい兆しが見えてきました。南那珂医師会では3つの公立病院があり、串間市においては串間市

民病院が市民の健康を守っています。4月から新しい体制となりました。総合診療科が廃止となり、内科医が増員となりました。病院事業管理者が黒木から江藤敏治医師に交代となりました。健診部門、在宅部門、救急部門を充実させ、開業医の先生方との連携を更に密にして行くつもりですのでよろしくお願いします。

(黒木 和男)

西諸医師会

西諸地域では新型コロナの入院患者を受け入れる5つの病院の医療従事者への1回目のワクチン接種が開始されました（3月22日現在）。

当地域では小林保健センターが基本型接種施設となり、通常の医療機関が基本型となるよりも、ワクチン管理や配送などの業務を行政が行うため医療機関の負担が大きく軽減されることになるのではないかと考えております。

また、医療従事者の優先接種を行う連携型には30以上の病院・診療所がご協力いただけることとなっております。住民接種についても、個別接種を想定しており会員の先生方の多大なご協力が必要であります。この記事が掲載されるころには、医療従事者の優先接種が終わり、多くの住民の皆様が接種を受けることができる体制が整っていることを切に願っております。

(寺谷 威)

西臼杵郡医師会

3月13日、延岡市において宮崎大学救命救急センター、宮崎県、宮崎県立延岡病院主催の「県北地域における救急医療について考えるフォーラム」が開催されました。大分大学高度救命救急センターの坂本教授、宮崎大学救命救急センターの落合教授、脳神経外科の竹島教授、県立延岡病院の寺尾院長、延岡市医師会の佐藤会長、延岡市長、他の皆さんが出席して、ドクターヘリ・ドクターカーを用いた病院前救急診療や、遠隔診療支援システムの活用について、講演と活発な意見交換が行われました。

(久米 修一)

国公立病院だより

宮崎県立こども療育センター



かわの あきひろ
川野 彰裕 所長

1. はじめに

平成28年5月以来5年ぶりの“国公立病院だより”となります。

昨年から人類が今までに経験したことの無い新

型コロナウイルス感染症との戦いを余儀なくされています。世界中において都市閉鎖、緊急事態宣言などが発令され、いまだ予断を許さない状況です。医療機関や福祉施設では、その感染対策に追われ、クラスター発生におびえる毎日であります。当センターも「医療型障害児入所施設」および「医療型児童発達支援センター」としてその役割を果たしていくことが求められ、当然、新型コロナウイルス感染症への対策も重点課題の一つとなりました。令和2年7月に県の新型コロナウイルス感染症対策補正予算として“県立こども療育センター感染症対策整備事業”322百万円が計上されました。既存の病棟の一部を、陰圧室を完備した経過観察室と3密対策などを考慮した集中療育室に改修することが主な整備事業となり、現在、改修の真っ最中であります。障がい児入所施設として安全に運営できるハード面の強化を行っていきたいと考えています。令和3年7月に改修が完了する予定でスタッフ一同、首を長くして待っているところです。

2. 診療

医師は整形外科専門医3名が常勤で、小児科医は宮崎大学小児科医局のご協力のもと非常勤医を派遣していただいております。また、重複した疾患を抱える児童が多いため、宮崎大学より、歯科口腔外科、泌尿器科、眼科、麻酔科の非常勤医師派遣をいただいております。特に手術症例も多くあるため、麻酔科医の定期的な派遣に関しては大変感謝しているところです。

さて、当センターは肢体不自由児を中心とした医療型障害児入所施設であるとともに、医療法による小児整形外科専門病院としての機能を併せもつ県内唯一の病院でもあります。先天異常や小児特有の筋骨格系の疾患に対して、県全体を網羅し、専門的な治療を継続、強化しています。おもな対象疾患は、小児整形外科では乳幼児股関節脱臼、先天性内反足、斜頸、ペルテス病、脚異常など、神経・筋疾患では、脳性麻痺、運動発達遅滞、二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、骨系統疾患では、骨形成不全、多発性関節拘縮症、軟骨無形成症、多発性骨端異形成症などに対して専門的な治療を行っております。このような骨関節、神経・筋疾患は比較的長期にわたる治療が必要であるため、隣接する清武せいりゅう支援学校に通学しながら、入所や通院によって整形外科的、小児科的治療やリハビリテーション、生活指導を行い、その障がいの除去・軽減を図っています。

3. 障がい児施設としての取り組み

短期入所・日中一時支援事業としてのショートステイ、医療型児童発達支援センターとしての通所支援事業に取り組んでいます。また、地

域支援として、在宅の障がいをもった児童の地域での生活を支援するために、身近な場所（県内各支援学校や福祉こどもセンター、保健所を会場とする）で療育指導や相談に応じる巡回相談を行っています。更に、生活する地域で必要なりハビリテーションが受けられる体制を整備するために、県内各地域の医療機関に勤務するリハビリテーションスタッフへの研修を行う小児リハビリテーション研修事業、県北の障がい児（者）の当センターへの通院負担軽減のための県立延岡病院における出張診療なども継続して行っております。

4. おわりに

私自身、今年で50歳を迎え、医師としても四半世紀が経ってしまいました。当初は整形外科医として、主に救急外傷や骨折、骨関節変性疾患に対する人工関節などの治療をしておりました。派遣先の県立日南病院時代に、当時の部長が股関節疾患と小児整形外科の専門であり、厳しい指導ではありましたが、小児整形外科の奥深さと大切さを学び、生涯の専門領域となりま

した。更に平成21年に当センター赴任後は、前所長より“療育”という分野を指導していただき、その重要性和責任を感じながら継承し仕事を行っているところです。微力ではありますが、センタースタッフとともに、障がいのあるなしにかかわらず子どもたちがいきいきと暮らせるような地域医療・福祉の一端を担えるよう、療育センターを盛り立てていきたいと思っています。今後とも障がい児の療育にご理解とご協力をお願いいたします。最後に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈念いたします。



宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター



こだま ゆき
児玉 由紀 センター長

宮崎大学医学部附属病院総合周産期母子医療センターは、ハイリスク妊産婦の母体、胎児、新生児を一貫して管理するセンターです。産婦人科、小児科、小児外科、脳神経外科、眼科など多診療

科の協力のもと、県内の三次周産期・新生児医療を展開しています。

沿 革

平成8年に分娩部（産婦人科）と新生児治療室（小児科）が統合し周産母子センターが設立されました。平成10年にNICU（新生児集中治療室）、GCU（回復治療室）での新生児治療を開始しました。平成20年にはハイリスク妊婦と胎児の集中監視を目標としたMFICU（母体胎児集中治療室）が加わり厚生労働省からの指定を受けて、総合周産期母子医療センターとなりました。本年3月に改修工事が終了し、高度化している医療に対応できるようになりました。

診療体制

宮崎県内の「最後の砦」として、24時間体制で母体・新生児搬送を受け入れています。現在、センター長 児玉由紀教授、副センター長 山田直史助教、病棟医長 村岡純輔助教の他、中目和彦講師（小児外科）、大西淳仁講師（産婦人科）、山下理絵助教（卒後臨床研修センター）、青木良則助教（小児科）、牛嶋順子助教（産婦人科）、藤崎碧助教（産婦人科）、原田雅子助教（小児科）、山下尚人助教（小児科）、更に産婦人科と小児科からのローテーター複数名で診療しています。令和3年2月に桂木真司産婦人科主任教授が着任し、更に周産期部門を発展させていこうと努めております。

母体胎児部門は、早産、前期破水、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、胎児異常などのハイリスク妊娠・分娩を管理しています。センター内の胎児心拍数モニタリングシステムは院内だけでなく、必要に応じて院外施設からの胎児心拍数モニターも見る事ができるシステムとなっています。すなわち、県内の1次、2次施設の胎児心拍数モニターもこの共同監視システムを通じて共有でき、安全な分娩体制の強化が整備されました。また、胎内治療としての臍帯穿刺による胎児輸血や、胎児胸水に対するシャントチューブ挿入などが可能となりました。

新生児部門では、年間平均30例の超低出生体重児（出生体重1,000 g未満）を中心に、先天性心疾患、先天性横隔膜ヘルニアや腸回転異常などの小児外科疾患、脊髄髄膜瘤などの脳神経外科疾患、未熟児網膜症などの眼科疾患等、各領域の専門医と協力して治療にあたっています。2019年には出生体重300 g台の児が4名出生し、無事に全員が退院しました。

産科一次施設では低リスク妊娠・分娩を扱い、ハイリスク症例は二次施設（地域周産期母子医療センター）へ、更に高度な医療が必要な場合は当総合周産期母子医療センターに紹介となるピラミッド型の診療体制を堅持することで、宮崎県の周産期死亡率は出生1,000あたり2.5程度と全国でも上位水準を維持しています。

教育体制

大学病院としての機能を果たすべく、医学生、研修医、助産師・看護師に周産期医療教育を継続して行っています。週1回、池ノ上学長や鮫島病院長にもご参加いただき、県内の周産期高次施設と県外施設（鹿児島市立病院、ペルランド総合病院、船橋中央病院）で定期カンファレンスを行い、知識向上を図っています。

おわりに

当センターの役割は宮崎県の周産期医療の中核として機能することであり、目的を同じくする宮崎県産婦人科医会をはじめ、県医師会の皆様のご協力に感謝いたします。

（副センター長 山田 直史）

部会だより

労 災 部 会

たなか としまさ
田中 俊正 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和39年5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に事業活動を行っています。会員は、労働者災害補償保険法に

基づく労災指定医療機関の代表をもって、現在412の医療機関で構成されています。

労災保険診療は公的医療保険に準じての治療のみではなく、傷病労働者の早期社会復帰を目的とした傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野までさまざまな診断や認定などに関して、多くの分野での専門医のお力を必要としております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症におきましても、労災保険の請求勧奨や医学的事項などの照会についてご協力をいただいております。県医師会員の先生方には、日頃からのご協力に対しまして、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

次に労災部会について、現況を紹介します。

1 労災部会の構成

- 1) 理事会（部会長以下9名、監事2名、顧問2名）
- 2) 宮崎労災保険診療費審査委員会（委員長以下11名）
- 3) 宮崎県医師会労災部会自賠委員会（委員長以下11名）

2 令和3年度事業計画（案）

- 1) 定期総会
- 2) 補習教育（研修会など）の開催
 - ①医学会（県外科医会並びに県整形外科医会との合同学会）の開催
 - ②労災診療費算定実務研修会（3地区）の開催

- ③労災関係保険審査委員会会議への参加
- 3) 労災診療指導委員会の開催（毎月1回 年12回）
- 4) 理事会の開催（毎月1回 年12回）
- 5) 労災指定医療機関の指導・調査
- 6) 交通事故問題の検討
 - ①自賠委員会（年2回）の開催
 - ②損害保険医療協議会（年2回）の開催
 - ③損害保険医療協議会小委員会（適時必要に応じて開催）
 - ④自賠責保険研修会（医療機関実務担当者向け）の開催

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年7月に開催しています定期総会は書面決裁となりました。また、予定していました合同学会、各研修会は中止いたしました。本部会の研修会には、毎会多くの医療請求事務職員の方々が受講され、労災診療費の請求にお役立ていただいております。開催に至らなかったことは大変残念でありました。

今年度の県外科医会と県整形外科医会との合同学会は、宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野教授 池田康博先生に「知っておきたい失明に繋がる眼疾患」と題してご講演をお願いいたしました。来る7月17日(土)17時から県医師会館にて開催しますので、先生方と関係職員のご参加をよろしくお願いいたします。

また当部会自賠委員会では、損保会社からの治療打ち切りや電話での問い合わせなど、会員医療機関と患者さん、損保会社との交通事故診療における問題解決にも引き続き取り組んでまいります。

最後に、労災指定医療機関で当部会へ未加入の医療機関におかれましては、ご入会についてお願い申し上げます。会員先生方と労災保険診療・交通事故診療に関する諸問題への迅速な解決を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

宮崎県医師会創立132周年記念医学会

と き 令和3年2月25日(木)

ところ 県医師会館およびWeb開催

開会に先立ち、医神祭を執り行った。

挨拶（要旨）

県医師会長 河野 雅行

本日は、Web会議での参加を含め、多くの皆様にご参加いただき、感謝申し上げます。

本医学会は本会の創立を記念して開催しており、せっかくの機会のため、宮崎県医師会の歴史を説明する。明治22年2月25日に宮崎県会議事堂で4日間にわたり、第1回目の連合医学会が開催され、本会の前身である宮崎県連合医学会が発足された。その後、明治39年に医師法、医師会規則が交付されたことにより、明治40年に宮崎県医師会へと改称された。先代より、県民の皆様とともに生きるという「地域共生」の理念を掲げ、関係機関と連携しながら日々活動している。直近の話題では、国内の医療従事者を対象に新型コロナワクチンの先行接種が全国で開始された。通常の医療提供体制に加えて、ワクチン接種体制の構築にも全力で対応したい。

本日は、県医師会医学賞贈呈式と医学賞講演を予定している。最後までご清聴をよろしくお願いしたい。

県医師会医学賞贈呈

昨年度対象論文（第42巻第1号及び第2号）の受賞者、独立行政法人 地域医療機能推進機構 宮崎江南病院 健康管理センター長の杜若陽祐先



左から村岡先生、川越先生、杜若先生

生の論文「モレル・ラバリー病変（Morel-Lavallée lesion）のMRI診断」と、本年度対象論文（第43巻第1号及び第2号）の受賞者、宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 准教授の川越靖之先生の論文「過去20年の総合周産期母子医療センターにおける産科症例の変遷」と、村岡泌尿器科内科院長の村岡敬介先生の論文「問診で得られた排尿のための第一覚醒時間の有用性：外来患者における夜間頻尿と睡眠習慣の聞き取り調査」について、嶋本理事より医学賞推薦理由の説明があった。その後、河野会長より杜若陽祐先生、川越靖之先生、村岡敬介先生に表彰状と金一封が贈呈された。

医学賞講演

嶋本理事の座長で、医学賞を受賞された杜若陽祐先生、川越靖之先生、村岡敬介先生に、受賞論文の概要をご講演いただいた。

－ 各種委員会 －

宮崎県医師会医学会役員会

と き 令和3年3月17日(水)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本理事の司会により開会。河野学会長の挨拶に続き、報告、協議が行われた。

1 報 告

1) 役員について

昨年6月の役員改選後、初めての開催であるため役員紹介を行った。学会長は県医師会の河野会長、副学会長は濱田副会長と、各専門分科医会長を代表して内科医学会長の比嘉利信先生に、各専門分科医会から推薦された先生方は幹事にご就任いただいた。

2) 令和元年度宮崎県医師会医学会について

令和元年9月7日に「スポーツ診療とAI」をテーマに特別講演2題で開催した。

「実地診療で役立つスポーツ診療－診断で落とし穴にはまらないために－」と題し、宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科分野 教授の帖佐悦男先生に、もう1題を「消化器内視鏡のAI診断について」と題し、大阪国際がんセンター 消化管内科診療主任の七條智聖先生にご講演いただいた。出席者は72名であった。



2 協 議

1) 令和3年度宮崎県医師会医学会の開催について

9月4日(土)に開催する医学会について、テーマや講師などについて検討を行った。多数の案の中から、新興感染症に関する考察にテーマを絞り、講師を選定することとなった。

出席者

県医師会館－河野学会長、濱田・比嘉副学会長
弘野・佐藤・北村・黒岩・松・
出水・坪井・杜若・嶋本幹事
小牧常任理事、岩村理事
Web (Zoom)－大平・室井・池井幹事
(県医) 牧野課長、本崎主事

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、令和3年5月1日から同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

All Miyazaki研修医スタートアップセミナー

と き 令和3年4月3日(出)

ところ 県医師会館および基幹型臨床研修病院 (Web開催)

本県で臨床研修を行う研修医を歓迎し、それぞれの施設で研修をしている研修医同士の連帯感を高めるため、All Miyazaki研修医スタートアップセミナーを開催した。昨年度の同行事は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送ったため、今年度は1年次研修医に加え、昨年度の1年次研修医(令和3年度2年次研修医)にもご参加いただき、Web会議システムで県医師会館と基幹型研修病院をつないで開催した。出席した研修医は108名(1年次70名、2年次38名)であった。

県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ委員長で、宮崎大学医学部医療人育成支援センターの小松教授の司会により開会。次に、河野医師会長はLIVEにて、河野知事および池ノ上宮崎大学長はビデオメッセージにより、国家試験合格への祝意と本県で研修を行うことへの歓迎、激励のメッセージを伝えた。

研修医のための説明会～医師会の役割について～

小牧常任理事の司会により開会し、山村副会長が「医師会の紹介」、濱田副会長が「医療事故調査制度／医事紛争」について説明した。最後に、荒木常任理事が医師会入会のメリットなどを説明し、医師会への入会をお願いした。

なお、本会から1・2年次臨床研修医に記念品のペンライトを贈呈した。

各基幹型臨床研修病院から研修医紹介・挨拶

Webで参加された各基幹型臨床研修病院より、研修医の紹介があった。研修医の人数が多い病院は代表者がそれぞれ研修環境の特徴など

を述べ、少ないところは1人ずつ自己紹介を行うなど、各病院とも工夫を凝らし、画面を通して交流を図った。

臨床研修スタートアップ・教育セッション

小松教授の進行のもと、現在の臨床研修制度を経験した若手医師および指導経験豊富な医師8名に、「2年間の臨床研修を充実させるため」というテーマで、以下プログラムのとおりご講演いただいた。

1 イントロダクション

宮崎大学医学部附属病院 県臨床研修・専門研修運営協議会WG

委員長 小松 弘幸 先生

2 “できレジ”への道

古賀総合病院 坂元 貴道 先生

3 救急サバイバル

宮崎市郡医師会病院 長野 健彦 先生

4 地域研修の魅力

都農町国保病院 ^{のきた} 梶田 一旭 先生

5 研修中の勉強法

県立宮崎病院 安藤 伶旺 先生

6 研修小ネタ集

県立宮崎病院 枝元 真人 先生

7 リサーチマインドの薦め

宮崎大学医学部附属病院 坪内 拡伸 先生

8 ストレスマネジメント

宮崎生協病院 松田 隆志 先生

9 全体討論

令和3年度1年次研修医（71名）

◆宮崎大学医学部附属病院

赤木 秀男	池田 涼馬	伊澤 和範	猪瀬 将之	岩田 春華	大槻佑生子
久嶋 嵐	黒木 梨加	坂元 紀彦	佐々木 悠	佐藤 夕輝	積島 宏昂
徳地 佑香	戸高 圭祐	永井 昌美	中尾 周平	長友 映璃	林 堯樹
日高 正登	平林奈那子	堀田 尚吾	松永 美穂	三嶋 悠佳	宮田奈央子
諸星 朋音	山口 航生	山田愛加理	山西 博子	山本 哲平	吉満 直哉
代永 良太	渡部 和也	西畑紀美子	相川 愛恵	吉田 翔	和久井厚志
鮫島 主					

◆県立宮崎病院

上田眞太郎	川越 万菜	木下 憶斗	金野すみれ	黒木 陽太	近藤 誠
田崎 和志	谷口 真典	田原 幹之	西田 脩通	肥後 聖	松田絵里菜
松本 健吾	山崎 泰司	大西 斉	日高 舜平	斎藤 康行	松田 昌己

◆県立延岡病院

黒木 麻由	和田 陽花	関 遥
-------	-------	-----

◆県立日南病院

荒木 裕介	蛭原 悠晟	鶴田 健二	坂口 岳彦	樋本 孝彦	新地 康規
-------	-------	-------	-------	-------	-------

◆古賀総合病院

小川 梨穂	簀田 佳帆	山下 遥大
-------	-------	-------

◆宮崎生協病院

下西 広大	立山 勝希	野中 智仁	八瀬尾祐斗
-------	-------	-------	-------

令和3年度2年次研修医（57名）

◆宮崎大学医学部附属病院

岩本 和樹	押川 加奈	小野 健太	金崎 里絵	金子 博樹	唐澤 賢祥
川上隆太郎	川越 博文	釘宮 啓一	古賀 正一	小永田綾香	坂本耕一郎
佐藤 倅一	佐藤 有生	東雲 崇之	瀬戸 暁子	武田 紘昌	田中 早紀
徳永しおり	戸村祐理子	長友 京	長友 優菜	西原 桃子	前田 央祐
前田 充範	山成 康洋	兒玉 泰俊			

◆県立宮崎病院

有川 壮磨	柏木 悠吾	川越 亮	黒木 進	黒木 利樹	鮫島 央
常岡 寛子	中村 行人	福良 拓也	満留 一匠	峯 陽子	三宅 良博
保田恵里花	山田 隆盛	黒木 衆	荒川 大輝	上池 陸人	

◆県立延岡病院

川口 涼大

◆県立日南病院

横尾 優希 武谷 一徹 宮元 耀嗣

◆古賀総合病院

青山 勝治 海老原秀生 津曲 麻依 藤田 晋也

◆宮崎生協病院

井上三保子 佐藤 聖香 山下さくら

◆藤元総合病院

川添 智浩 野邊 晃頌



お知らせ

宮崎県医師会・医師国保組合・
医師協同組合事務局職員配置

令和3年4月1日付の事務局職員配置をお知らせします。

県医師会

所 属	役 職 名	氏 名
事 務 局 長		竹 崎 栄一郎
事 務 局 次 長 (総括)		園 山 俊 彦
総 務 課	課 長 (兼任)	久 永 夏 樹
	課 長 補 佐	野 尻 早 苗
	課 長 補 佐	湯 浅 和 代
	主 任	立 田 勝 弘
	主 事	畠 中 まどか
	主 事	羽田野 悠 佑
経 理 課	課 長	松 本 優 美
	係 長	串 間 恵 子
	主 事	松 崎 遥
	主 事	畠 中 麻 有
地 域 医 療 課	課 長 (兼任)	久 永 夏 樹
	係 長	田 崎 圭一郎
	主 事	横 山 葵
	主 事	山 本 桃 子
	主 事	荒 川 幸 亮
学 術 広 報 課	課 長	牧 野 諭
	課 長 補 佐	鳥井元 進 一
	係 長	渡 邊 純 子
	主 事	本 崎 礼 子
	主 事	弓 削 圭 介
嘱 託 職 員		河 野 和 子
臨 時 職 員		吉 良 美人子

県医師国保組合

事 務 局 長	竹 崎 栄一郎
事 務 長	杉 田 秀 博
係 長	堀 口 美 香
主 事	福 田 里 紗
主 事	前 田 真 由

県医師協同組合

事 務 局 長	竹 崎 栄一郎
事務長兼保険課長	小 川 道 隆
事務次長兼購買課長	與 俊 弘
課 長 補 佐	大 野 正 博
係 長	永 田 彰 子
係 長	安 井 順 子
主 事	宗 守 沙 樹
主 事	平 川 ゆう子

日医インターネットニュースから

■三位一体の対策でコロナに打ち勝つ — 中川会長 —

中川俊男会長は3月31日の会見で、新型コロナウイルス感染症の直近の感染状況について「全国的にも感染の再拡大の傾向が強くなってきている」とし、「今、確実に第4波に向かっていく」と危機感を示した。今後の対応として「政府・自治体の実効性のある施策」「医療提供体制の整備とワクチン接種の推進」「日常の感染防止対策の徹底」の3つを挙げた。「(3つの対応が)三位一体となることで、新型コロナウイルスに立ち向かい、打ち勝つことができると考えている」と呼び掛けた。

緊急事態宣言が先行解除された近畿3府県で新規感染者数が増加していることなどを挙げ、「今後、首都圏の感染者も同様に、一気に増加していくことが強く予測される」と指摘した。宮城、山形、愛媛、沖縄などの各県でも急増しているため、「地方で加速度的に感染が拡大すれば、医療提供体制はより危機的な状況に陥る」と懸念を示した。(令和3年4月2日)

■オンライン資格確認、導入予定は5割 — 日医総研リサーチエッセイ —

日医総研はこのほど、リサーチエッセイ「オンライン資格確認導入に係るサイバーリスクの実態に関する調査結果の分析と考察」を公表した。オンライン資格確認の導入意思を聞いたところ、導入予定だったのは約5割だった。2021年3月に導入予定は21.0%(629施設)、23年3

月までに導入予定は31.4%(938施設)となった。

病床規模が大きくなるほど導入予定の割合が高かった。診療所は41.6%、199床以下の病院が55.3%、200床以上499床以下の病院が68.7%、500床以上の病院が85.7%だった。エッセイでは、導入の意義を一層周知することが必要だとまとめた。

医療関連システムのインターネット接続環境や、ネットワーク構成図の保有状況、情報システムの管理体制、サイバーセキュリティー対策の予算なども聞いた。セキュリティー対策上、解決すべき課題があるとし、その啓発と支援が必要だと指摘。診療所、中小病院やオンライン資格確認導入予定の医療機関を主とした対策が必要だと提言した。公的な資金支援の充実も不可欠とした。(令和3年4月6日)

■「子ども庁」創設に前向き姿勢

— 菅首相、参院決算委で —

菅義偉首相は4月5日の参院決算委員会で、国の子ども関連施策を一元的に担当する「子ども庁」構想について、「国の宝である子供たちの政策を何としても進めなければならない。それが政治の役割だ」と前向きに検討する姿勢を示した。自見英子氏(自民)への答弁。

自見氏は自身が中心となっている勉強会の提言で、「子ども庁」創設に向けた専任大臣の設置や、子ども・子育て関連予算の大幅増額を求めたことを報告し、創設への意気込みを尋ねた。菅首相は、検討に前向きな姿勢を示した上で、「例えばあってはならない児童虐待については、

内閣府や厚生労働省だけでなく、警察庁、文部科学省、法務省、総務省など多くの省庁が関係する」と担当が多省庁にまたがる現状を指摘。「まずは（自民）党内において、日本の未来という大きな視点でさらに検討を進めてもらいたい」と述べた。（令和3年4月9日）

■コロナ変異株患者の退院基準を緩和

— 厚労省 —

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策推進本部は4月8日付で、事務連絡「新型コロナウイルス変異株流行国・地域に滞在歴がある入国者の方々の健康フォローアップ及びSARS-CoV-2陽性と判定された方の情報及び検体送付の徹底について」を改訂し、変異株感染者の退院基準を緩和した。現時点までに得た科学的知見に基づき、今後は、従来株の感染者と同様の退院基準を適用する。宿泊療養や自宅療養の解除基準も同様とする。

変異株感染者の退院基準については、これまで、有症状者の場合は「PCR等検査で2回の陰性を確認する」ことなどを定めていた。今回の改訂により、人工呼吸器等による治療を行わなかった患者については「発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合」に退院可能とする。人工呼吸器等で治療を行った

患者でも、「発症日から15日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合」は退院できるとした。無症状者の場合は「発症日から10日間経過した場合」に退院できる。別添のQ & Aでは、入院中の患者について、退院基準を満たさなくても宿泊療養に移行して差し支えないとの考えも示した。（令和3年4月13日）

■3度目の緊急事態宣言「状況次第で必要」

— 中川会長 —

中川俊男会長は4月14日の会見で、感染が再拡大している新型コロナウイルス感染症について、3度目の緊急事態宣言発令に言及。「先手、先手、早め、早めの手を打つという意味ではまん延防止等重点措置ではなく、状況によっては早期の緊急事態宣言発令も必要だと考える」と述べ、「結局、発令することになるのであれば、できるだけ早く発令の方が効力を発揮する」と検討を求めた。もし、発令するのであれば「1回目の宣言時のような広範囲での強い自粛と外出制限などを要請する、覚悟のいる厳しい内容にならざるを得ない」とし、全国的に危機感と緊張感を醸成しなければならないと強調した。（令和3年4月16日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

医師賠償責任保険のご案内

○ 補償内容：医師特約（医療上の事故）

医師が日本国内において行った医療上の過失によって患者に身体の障害が発生し損害賠償請求された場合や、法律上の賠償責任を補償するものです。お支払いする保険金は、法律上の賠償金（治療費・休業損失・慰謝料等）です。

○ 補償内容：医療施設特約（医療施設の不備による事故）

医療施設の建物や設備の不備に起因する事故等によって第三者の身体障害や、財物損害が発生した場合に、法律上の賠償責任を補償するものです。お支払いの事例としては、病院で出火し入院患者が死亡した、待合室の天井が落下し見舞い客がケガをした、病院の給食で患者が食中毒となった…等。

○ 会員区分の違いによる加入方法

A1会員・A2会員・B会員によって加入タイプが異なります。（下図参照）

※A1・A2会員は日医の保険に加入しておりますが、100万円の自己負担（免責）がありますので、この保険にご加入の必要があります。

3億円→	②医師協で加入 医療施設特約		②医師協で加入 (3億補償) ②医師協で加入 (2億補償) ②医師協で加入 (1億補償) 医師特約	
2億円→				
1億円→				
100万円→				
	③日医 特約保険	①日医で 加入済	③日医 特約保険	①日医で 加入済
	②医師協で 加入	②医師協で 加入	②医師協で 加入	②医師協で 加入
	医師特約	医師特約	医師特約	医師特約
	A1会員 (開業医)		A2会員 (勤務医)	B会員 (勤務医)
②の 年間保険料	7,896円		4,000円	3億⇒62,400円 2億⇒51,568円 1億⇒40,664円

※③の日医特約保険については、別途、県医師会にお問合わせください。

○ 勤務医包括担保追加条項（オプション）

医療機関の勤務医を包括的に被保険者とし、勤務医の個人責任を補償するもので、加入されている医療機関で行った医療行為のみが対象です。

【診療所の年間保険料：1,874円】

○ 傷害見舞費用担保追加条項（オプション）

医療機関利用者（外来患者や見舞客等が対象で、入院患者や従業員等は含まれません）が、急激かつ偶然な外来の事故により障害を被った場合の見舞金を賠償責任の有無に関係なく、決められた金額をお支払いします。

【診療所の年間保険料：1,724円】

○ 医療従事者賠償責任保険（オプション）

医療従事者（エックス線技師・理学療法士・薬剤師等）の法律に規定する業務の遂行に起因して患者に障害を発生させた場合に、法律上の賠償を補償します。

※看護師は対象外となり、別途「看護職賠償責任保険」で対象になります。

【診療所の年間保険料：358円～560円】

○ 医療機関受託者賠償責任保険（オプション）

患者から預かった身の回り品（メガネ・入れ歯等）等を保管している間に火災・盗難・取扱い上の不注意によって破損させた場合等により、患者に返還できなくなった場合、法律上の損害賠償を決められた保険金額内で補償します。

【診療所の年間保険料：4,620円】

○ 傷害担保追加条項（オプション）

開設者や使用人が業務中に被った身体傷害・中毒症状・※特定感染症を発病した場合に所定の保険金をお支払いします。

※SARS・MERS・新型コロナウイルス感染症等。

【診療所の年間保険料：111,984～269,376円】

【注意点】

法律上の賠償責任が発生しないにもかかわらず、被害者に支払われた見舞金等はお支払いの対象となりません。

もしも事故が起こったら・・・

〈医師特約事故の場合〉

所属の郡市医師会へご連絡をしていただき、必要書類をご提出ください。

〈医療施設特約事故の場合〉

宮崎県医師協同組合まで、ご連絡ください。

このご案内は、保険の概要を説明したものです。詳しい内容等につきましては「ご契約のしおり」「重要事項説明書」等をご覧ください。なお、ご不明な点は下記までお問合せください。

お問い合わせ先

宮崎県医師協同組合

TEL (0985) 23-9100 FAX (0985) 23-9179

医師国保組合だより

令和2年度 宮崎県医師国民健康保険組合第124回通常組合会

と き 令和3年3月8日(月)

ところ 県 医 師 会 館

去る3月8日に第124回通常組合会が開催され、秦理事長の挨拶後、議事に入った。専決報告事項および会務・業務の内容について報告後、規約の一部改正（案）、令和3年度事業計画（案）、歳入歳出予算（案）、法令遵守（コンプライアンス）のための実践計画（案）についての審議を行い、すべて原案どおり可決承認された。

1 理事長挨拶

医療従事者への新型コロナウイルス感染症ワクチンの先行接種が始まり、近々に他の医療従事者にも医療提供体制の確保のため、優先的にワクチン接種が実施される。ようやく収束に向けた希望が見えつつあるが、変異株の広がりが気がりである。以前、47都道府県の各医師国保組合を一つの健康保険組合に統合して運営する構想が一部国会議員から提案された。同時期に医師国保組合に対する定率国庫補助率が32%から13%に大幅削減され、各医師国保組合は積立金を取り崩しながら保険料の値上げを実施し、財政運営の悪化を凌いできた。ただ、1,000万円超の高額医療費が数件でも発生すれば、当組合のような小規模組合は瞬く間に厳しい財政状況に陥る。生活習慣病および認知症の予防が健康寿命の延伸につながることから、人生100年時代を見据えた事業も展開する必要がある。いつまでも自分自身の足で動き回ることができ

るように、従来より取り組んでいるロコモ予防に加えて、フレイル対策も取り組む。開業医の8割が加入している医師国保組合は医師会員にとっての福利厚生事業を行う最後の砦になるべきと考える。今後も組合員の立場に立って、より良い事業運営を目指していきたい。

2 議事状況

1) 専決報告事項「規約の一部改正」について

保険給付の一部負担金に関する規約第41条の一部改正について、規約第22条により理事の専決処分したことを報告した。

2) 会務および業務報告について

会務は、関連団体との諸会議および当組合理事会などの協議事項を報告した。業務は、被保険者数の推移、療養諸費などの給付状況、保健事業の実績を報告した。令和2年度歳入歳出決算見込みの単年度収支は、被保険者数の減少と所得水準の高い医師国保組合に対する国庫補助率の段階的な引き下げにより歳入額は減少し、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言発令期間中の療養諸費は減少傾向が見受けられたが、高齢者医療制度に対する拠出金の更なる保険者負担増もあって、▲2,848万余円の赤字決算の見通しであると報告した。

3) 協 議

議案第1号「規約の一部改正（案）」に関連するため、来年度の保険料賦課額につ

いて協議した。過去3か年の歳入歳出決算状況および令和2年度歳入歳出決算見込みのシミュレーションに基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による医療機関への影響も考慮したうえで、来年度の医療分保険料と後期高齢者支援金分保険料は据え置き、介護納付金分保険料のみ国への拠出金負担の不足額分を現保険料賦課額に上乘せすることを提案して了承された。

4) 規約の一部改正(案)について

来年度の保険料賦課額の変更(介護納付金分保険料5,400円→5,800円)による規約の一部改正(案)について説明し、原案どおり可決承認された。

5) 令和3年度事業計画(案)について

医師国保組合への定率国庫補助率は、当初の32%の補助率から半分以上の13%まで段階的に引き下げられた。また、郡市医師会をはじめ関係機関の協力も得ながら被保険者数の減少対策を講じているが歯止めがかからないため、保険料の減収も見込まれる。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況で、かつ高額レセプトの出現にも備える厳しい財政運営の中においても、前年度事業計画を踏襲した。最重要課題である組合員の加入については、当組合事業案内リーフレットを利用して、新規加入の医師会員および将来開業予定の医師も含めて組合への加入促進を図っていく。第二期データヘルス計画に基づき、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、発症予防および重症化予防などを行い、特定健診・特定保健指導の実施率向上を目指す。いつまでも自分で歩き続けることを目的としたロコモ予防に加えて、要介

護状態を避けるための身体的フレイル対策にも同様に取り組む。新たに後発医薬品差額通知を年数回実施するなど医療費適正化を目的に行う。輪番制により、九州地区医師国保組合連合会(医師国保組合のみで構成)の担当組合を一年間、全国国民健康保険協会九州支部(医師・歯科・薬剤師国保組合の三団体で構成)は二年間にわたって担当組合を当組合が受け持つことなど、主要な事業計画の内容を説明し、原案どおり可決承認された。

6) 令和3年度歳入歳出予算(案)について

歳入は、新年度の平均被保険者数から算出した保険料収入が3億7,389万余円で歳入合計の67%を占めている。国庫支出金は、定率国庫補助率13%分を基本に特定被保険者数の増加を考慮したうえで算出した4,744万余円で8%、繰越金は前年度比7,500万余円増の1億100万円で18%の比率となっている。財政安定化を図るための給付費等支払準備金積立金からの繰入金は計上していない。歳出は、保険給付費が2億4,580万余円で歳出合計の44%、後期高齢者支援金等は8,935万余円で16%、介護納付金は4,719万余円で8%を占めている。前期高齢者納付金は、科目存置の計上額のみで支出の見込みはない。保健事業費は2,286万余円で4%、予備費は、複数の高額レセプト請求の出現による療養費支払いなどへの備えのため、7,681万余円を計上した。歳入・歳出とも合計5億6,046万余円の予算(前年度比2.7%増)を説明し、原案どおり可決承認された。

7) 令和3年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)について

当組合の法令遵守（コンプライアンス）を具体的に実践するための実践計画（案）を説明し、原案どおり可決承認された。

8）その他（新型コロナウイルス感染症における当組合の対応について）

自院での診察、治療および投薬を行った場合は、当組合同規約並びに保険給付に関する内規において、自家診療として保険請求

のすべてを制限している。ただし、いまだに収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症については、その疾患の特殊性を鑑みて、PCR検査または抗原検査に係る費用（検査実施料・判断料）に限り、当面の間は所定の申請を行ったうえで保険給付の請求可能となることを説明し、自家診療の取り扱いについて了承された。

出席組合会議員（議員定数30名 出席議員20名）

1 番 市 来 能 成	12 番 弘 野 修 一
2 番 内 田 攻	13 番 福 永 隆 幸
3 番 内 野 竜 二	14 番 野 邊 俊 文
4 番 岡 留 敏 秀	15 番 大 岐 照 彦
5 番 木佐貫 博 人	16 番 鵜 木 俊 秀
6 番 國 枝 良 行	21 番 竹 中 美 香
7 番 神 尊 敏 彦	22 番 坂 田 師 隣
8 番 佐 藤 潤一郎	25 番 福 岡 周 司
9 番 田 中 宏 幸	26 番 杉 原 純 次
11 番 原 田 雄 一	27 番 石 澤 宗 純

出席理事 10名

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大 坪 睦 郎
副理事長	濱 田 政 雄
常務理事	佐々木 究
常務理事	川 野 啓一郎
理 事	石 川 智 信
理 事	高 木 純 一
理 事	玉 置 昇
理 事	上 山 貴 子
理 事	北 村 洋

出席監事 2名

監 事	棚 田 敏 文
監 事	山 路 健

令和3年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

(単位：円)

款	項	金 額	構 成 比	
1. 国民健康保険料	1. 国 民 健 康 保 険 料	373,894,000	66.71%	
2. 一 部 負 担 金	1. 一 部 負 担 金	1,000	0.00%	
3. 国 庫 支 出 金		47,444,000	8.47%	(100.00%)
	1. 国 庫 負 担 金	1,508,000		(3.18%)
	2. 国 庫 補 助 金	45,936,000		(96.82%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前 期 高 齢 者 交 付 金	1,859,000	0.33%	
5. 県 支 出 金	1. 県 補 助 金	2,000	0.00%	
6. 共同事業交付金	1. 共 同 事 業 交 付 金	23,912,000	4.27%	
7. 財 産 収 入	1. 財 産 運 用 収 入	170,000	0.03%	
8. 繰 入 金	1. 繰 入 金	5,000	0.00%	
9. 繰 越 金	1. 繰 越 金	101,000,000	18.02%	
10. 諸 収 入		12,180,000	2.17%	(100.00%)
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000		(0.01%)
	2. 預 金 利 子	4,000		(0.03%)
	3. 雑 入	12,175,000		(99.96%)
歳 入 合 計		560,467,000	100.00%	

(歳 出)

款	項	金 額	構 成 比	
1. 組 合 会 費	1. 組 合 会 費	4,975,000	0.89%	
2. 総 務 費	1. 総 務 管 理 費	46,801,000	8.35%	
3. 保 険 給 付 費		245,803,000	43.86%	(100.00%)
	1. 療 養 諸 費	226,614,000		(92.19%)
	2. 高 額 療 養 費	13,001,000		(5.29%)
	3. 移 送 費	1,000		(0.00%)
	4. 出 産 育 児 諸 費	840,000		(0.34%)
	5. 葬 祭 諸 費	1,140,000		(0.46%)
	6. 傷 病 諸 費	4,207,000		(1.71%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後 期 高 齢 者 支 援 金 等	89,354,000	15.94%	
5. 前期高齢者納付金	1. 前 期 高 齢 者 納 付 金	6,000	0.00%	
6. 介 護 納 付 金	1. 介 護 納 付 金	47,196,000	8.42%	
7. 共同事業拠出金		26,646,000	4.75%	(100.00%)
	1. 共 同 事 業 拠 出 金	23,923,000		(89.78%)
	2. 共 同 事 業 負 担 金	2,723,000		(10.22%)
8. 保 健 事 業 費		22,866,000	4.08%	(100.00%)
	1. 特定健康診査等事業費	3,106,000		(13.58%)
	2. 保 健 事 業 費	19,760,000		(86.42%)
9. 積 立 金	1. 積 立 金	5,000	0.00%	
10. 組 合 債 費	1. 組 合 債 費	1,000	0.00%	
11. 諸 支 出 金	1. 償還金及び還付加算金	2,000	0.00%	
12. 予 備 費	1. 予 備 費	76,812,000	13.70%	
歳 出 合 計		560,467,000	100.00%	

令和2年度保健事業（健康診断個人票及び各種申請書）の提出について

令和2年度中に当組合の各種保健事業を実施された組合員および該当するご家族の方で、健康診断個人票や各種申請書をまだ提出されていない方は、5月21日(金)（必着）までにご提出ください。

※特に、特定健診対象者（40～74歳の方）は健康診断個人票をご提出ください。

※「特定保健指導利用券」が届いた方は必ず保健指導を受けてください。

提出期日を過ぎますとお支払いができませんのでご注意ください。お早目のご提出をお願い申し上げます。

令和3年度保健事業について

今年度も昨年度と同じく保健事業を実施いたします。5月に「保健事業のご案内」を組合員の先生方宛に送付する予定ですが、4月から受診されても結構です。その際には、当組合ウェブサイトから申請書をダウンロードしてご請求くださいますようお願い申し上げます。

◎当組合保健事業一覧

健康診断	歯科健康診査
胃・大腸内視鏡検査の補助	肺炎球菌ワクチン接種補助
低線量ヘリカルCT肺がん検診	インフルエンザワクチン接種補助
脳ドックなどの補助	乳がん検診（マンモグラフィ検査）

健康保険適用除外申請の手続きについて

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

国民健康保険法第116条にかかる届出について

修学のため住民票を移し、親元を離れて住む方などについては5月10日(月)までに必要書類の提出をお願いしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で在学証明書の取得が遅れる場合は、取得でき次第速やかに組合へ提出ください。

＜注 記＞

1) 在学証明書は、毎年4月1日以降発行のものを提出ください。

新入学の場合は、入学式終了直後から在学証明書が発行されます。

（※入寮許可証や学生証などは認められません）

2) 本届出に関する書類は、3月上旬に該当する組合員宛へ

「令和3年度保険料賦課のお知らせ」と一緒に送付しておりますのでご確認ください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

4月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年4月1日～4月23日

1	52ヘルツのくじらたち	町 田 そ の こ	中央公論新社
2	白鳥とコウモリ	東 野 圭 吾	幻 冬 舎
3	転生したらスライムだった件	伏 瀬	マイクロマガジン社
4	スマホ脳	アンデシュ・ハンセン	新 潮 社
5	魔力の胎動	東 野 圭 吾	KADOKAWA
6	1%の努力	西 村 博 之	ダイヤモンド社
7	1日1話, 読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書	藤 尾 秀 昭	致知出版社
8	かがみの孤城 上・下	辻 村 深 月	ポ プ ラ 社
9	論語と算盤	渋 沢 栄 一	筑 摩 書 房
10	天使たちの課外活動	芽 田 砂 胡	中央公論新社

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985)56-0868

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

医師資格証を持ちましょう

『医師資格証』はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



地域医療連携内での
診療情報提供書への
HPKI電子署名

（平成28年診療報酬改定において加算を算定することが可能）

電子処方せん発行時の
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定
医、かかりつけ医など各
種研修時の受講履歴、
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ
のログイン認証

ログイン



医師資格証ポータル
サイトの利用



治験データへの
HPKI電子署名



文書交換サービスの
利用



身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度
などへの任意登録に使用
する

※医師資格証を身分証として活用できるように各企業、行政機関に働きかけを行なっています



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>



医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

**令和3年3月2日(火) 第20回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 令和3年度妊婦及び乳児健康診査に係る委託契約単価について**

妊婦健診（健診回数14回，計108,960円〔全額公費と一部公費の2つの契約形〕，その他子宮頸がん健診など）と乳児健診（健診回数1回，6,310円，その他三歳児精密など）の契約締結を県内26市町村に提案することが承認された。

2. 令和3年度妊婦及び乳児健康診査並びに眼科及び耳鼻咽喉科に係る三歳児精密健康診査における審査事務費の契約について

単価を1件当たり52円とする審査事務費の契約締結を県内26市町村に提案することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について**①宮崎県歯科保健推進協議会委員の推薦について**

→歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することを目的に設置される協議会で，任期満了にともなう推薦依頼があり，引き続き荒木常任理事を推薦することが承認された。

②全国健康保険協会宮崎支部柔道整復師施

術療養費審査委員会の審査委員に係る推薦依頼について

→柔道整復師の施術に係る療養費支給の審査を行う委員会で，任期満了にともなう推薦依頼があり，引き続き中村周治先生を推薦することが承認された。

③児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託医の推薦について

→任期満了にともなう推薦依頼で，精神障害と肢体不自由障害の嘱託医については，再任の方向で現職の意向を確認し，内部障害については，県内科医会に人選を依頼することが承認された。

④生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

→任期満了にともなう推薦依頼で，県本庁嘱託医2名と郡部福祉事務所精神科嘱託医5名の計7名（一部重複）について，現職の再任の意向が確認できていることから，引き続き嘱託医をお願いすることが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について**①「みやざきナースToday2021」の名義後援について**

→県民や看護職を希望している生徒および保護者，進路担当教諭などを対象に，看護に対しての関心や理解を深めることを目的に開催する事業で，名義後援を行うことが承認された。

5. 4/3(土) 令和3年度All Miyazaki研修医スタートアップセミナーについて

本県で臨床研修を始める先生方をお祝いする会で，今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，止むを得ずWeb会議を用いて基幹型臨床研修病院などを結び，極力時間を短縮して開催することなどが承認された。

6. 「宮崎県災害医療コーディネーター設置要

綱」の一部改正及び宮崎県災害医療コーディネーター（第5期）の推薦について

被災地の保健医療ニーズの把握や活動チームの派遣調整などに係る助言などを行うコーディネーターの任期満了にともなう推薦依頼で、あらためて各郡市医師会に入選をお願いするとともに、県医師会から山村副会長、小牧・池井・瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

7. 3/10(水) 第21回都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会の開催について

令和3年度の介護報酬改定に関する議題を中心に開催される連絡協議会で、石川常任理事と玉置理事が出席することが承認された。

8. 4/11(日) 令和3年度学校保健講習会の開催について（日医会長より）

学校保健に従事するうえで必要な最近の学校健康教育行政事情や重要課題に係わる知識を修得することを目的に開催される講習会で、高木常任理事が出席することが承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 2月末日現在の会員数について

3. 2/10(水)（支払基金）支払基金幹事会について

4. 2/13(土)（県医）九医連常任委員会について

5. 2/14(日) 全国有床診療所連絡協議会常任理事会について

6. 2/15(月)（県電ホール）県地域医療対策協議会について

7. 2/16(火)（県医）日医理事会について

8. 2/24(水)（県防災庁舎）新型コロナウイルスワクチン接種に関する知事と医療関係団体との意見交換会について

9. 2/24(水)（県防災庁舎）STOP！コロナ差別オールみやざき共同宣言発出式について

10. 2/25(木) 日医会員の倫理・資質向上委員会について

11. 2/12(金) 日医共同利用施設検討委員会について

12. 2/16(火)（県医）都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

13. 2/13(土)（県医）九医連各種協議会について

14. 2/20(土)（県医）各郡市医師会長協議会について

15. 2/25(木)（県医）創立132周年記念医学会について

16. 2/15(月)（県庁）県情報化推進有識者会議について

17. 2/17(水)・19(金)（県医）広報委員会について

18. 2/27(土)（県医）内閣府次世代医療基盤法シンポジウムについて

19. 3/2(火)（県医）治験審査委員会について

20. 2/18(木)（日医）日医医療秘書認定試験委員会について

21. 2/10(水)（県医）日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会について

22. 2/22(月)（宮大医学部）宮大医学部地域枠・地域特別枠全体ミーティングについて

23. 2/26(金) 日医勤務医委員会について

24. 3/1(月)（県医）胃がん検診内視鏡検診従事者研修会について

25. 2/15(月)（県医）介護保険に関する主治医研修会について

26. 2/26(金) 日医地域包括ケア推進委員会について

27. 2/26(金)（県医）宮崎産業保健総合支援センター運営協議会について

28. 2/28(日) 日医母子保健講習会について
医師連盟関係

（議決事項）

1. 宮崎県医師連盟執行委員会の書面議決について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度の諸事業に関する執行委員会の議決を书面審議とすることが承認され、参議院選挙に向けた取組みを加えた令和3年度事業計画、昨年同様の日医連および県医連の会費と事業活動収入2,976万2千円、事業活動支出3,722万6千円からなる収支予算を提案することがあわせて承認された。

2. 3/8(月) (東京) 敬人会勉強会のご案内について

「コロナ対策の現状と課題」をテーマに開催される勉強会で、協力することが承認された。

3. 3/13(土) (宮観ホテル) 総務・支部長合同会議の開催について

主に令和3年度の運動方針および予算などを協議する合同会議で、対象の河野委員長が所用のため、欠席とすることが承認された。

令和3年3月9日(火) 第14回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①はり師、きゅう師およびあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費に関する公益代表委員の推薦について

→はり師、きゅう師およびあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費の支給申請を適正かつ効率的に審査するために設置される委員会で、医療保険担当理事から人選し推薦することが承認された。

②宮崎県保険者協議会委員の推薦について
→保険者間の健康づくりに関する問題意識の共有や、医療計画および医療費適

正化計画などに関する意見を検討する協議会で、県医師会を代表する委員として、引き続き岩村理事を推薦することが承認された。

③宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→産業保健関係者を支援するとともに事業主などに対し職場の健康管理への啓発を目的に設置されるセンターで、運営主幹の任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

④宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き瀬ノ口常任理事と川野理事を推薦することが承認された。

2. 宮崎県医師会広報委員会の委員について

宮崎大学医学部医学科に所属する委員の依頼期間満了にともなう交代で、新たに2名の学生委員が4/1(木)から就任することが承認された。

3. 4/1(木) 都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会の開催について

今後行われる医師の働き方改革への対応について情報共有するとともに諸問題を協議するために開催される協議会で、医療関係者対策および勤務医担当の立場から、池井常任理事と岩村理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/4(木) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

3. 3/9(火) (県医) 治験理事会について

4. 3/6(土)・7(日) (県医) 日医医療情報シス

テム協議会について

5. 3/7(日) (県医) 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について
6. 3/8(月) (県医) 緩和ケアチーム研修会について
7. 3/4(木) (県医) 日医認定産業医制度関係小委員会について
8. 2/8(月) (県庁) 県献血推進協議会について
9. 2/26(金) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
10. 2/24(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
11. 3/3(水) (県医) 医学会誌編集委員会について
12. 2/22(月) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 河野しゅんじ県政報告会の延期日程について
延期されていた県政報告会が4/11(日)シーガイア・コンベンションセンターで「県民とともに明日の宮崎を語る」と題し開催されることが報告され、県政報告会に協力することが承認されるとともに出席を希望する役員は事務局を経由して委員長に申出ることとなった。

令和3年3月23日(火) 第21回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 令和3年度における「妊産婦寄り添い支援事業」の実施について
県と宮崎市が実施主体となり、不安を抱える妊婦に対して分娩前に新型コロナウイルス感染症の検査などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

2. 会費減免申請について

疾病による会費減免2名(日医と県医)および高齢による会費減免1名(日医)が承認された。

3. 資金の運用について

令和3年4月1日に満期を迎える資金について、宮崎銀行および大和ネクスト銀行の定期に同日付けで預け入れることが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

- ①「第37回日本癌学会市民公開講座」に対する後援名義使用承認申請について
→がん研究と治療の現状を広く知ってもらうことを目的に、「感染症からのがんの発症を理解しよう」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県国民健康保険運営協議会委員の推薦について
→国民健康保険法に係る県内の統一的な運営方針や重要事項を審議するために設置された協議会で、引き続き医療保険担当として小牧常任理事を推薦することが承認された。

6. 審査委員の推せんについて

任期満了にともなう推薦依頼で、県医社保・国保審査委員会委員の選任基準(内規)に従い、本会から岩村理事と嶋本理事の2名を推薦することおよび、今後、郡市医師会に続いて各専門分科医会に推薦依頼を行うことが承認された。

7. 5/18(火) 令和3年度第1回都道府県医師会長会議の開催について

「新型コロナウイルス感染症に対する今後の医療提供体制」および「①医師資格証の普及と利活用、②日本医師会の組織強化」を討議テーマに開催する会で、テレビ

会議システムを利用して河野会長が出席することが承認された。

8. 業務委託について

①令和3年度広域予防接種業務の委託契約について

→対象者が圏域を越えて予防接種できるように、県内26各市町村と契約を行うもので、県内統一の41種類の予防接種委託料および事務手数料予診票1件あたり220円で契約を進めることが承認された。

②令和3年度高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について

→対象の高齢者が圏域を越えて予防接種できるように、県内26各市町村と契約を行うもので、県内統一の予防接種委託料（7,894円〔市町村で異なる自己負担額あり〕）および事務手数料予診票1件あたり220円で契約を進めることが承認された。

9. 4・5月の行事予定について

役員会を含めた4月および5月の行事予定が承認された。

（報告事項）

1. 3/10(水)（支払基金）支払基金幹事会について
2. 3/16(火)（県医）日医理事会について
3. 3/17(水)（県防災庁舎）みやざきSDGsプラットフォーム設立発起人会議について
4. 3/18(木)（県防災庁舎）新型コロナウイルスワクチン接種に関する知事と市町村及び医療関係団体代表者との意見交換会について
5. 3/18(木) 宮大経営協議会・学長選考会議について
6. 3/10(水) 日医医事法関係検討委員会について
7. 3/12(金)（県医）医療事故調査制度に関する厚生労働科学研究ヒアリングについて
8. 3/13(土)（県医）母体保護法指定医師研修

会について

9. 3/18(木)（県防災庁舎）県母子保健運営協議会について
 10. 3/18(木)（県防災庁舎）県特定不妊治療費助成事業協議会について
 11. 3/18(木)（県防災庁舎）県妊産婦寄り添い支援事業に関する説明会
 12. 3/19(金)（県防災庁舎）県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議について
 13. 3/18(木)（県防災庁舎）県健康づくり推進協議会について
 14. 3/13(土) 臨床検査精度管理調査報告会について
 15. 3/16(火)（県防災庁舎）県国民健康保険運営協議会について
 16. 3/19(金)（県医）医療機関経営Webセミナーについて
 17. 3/10(水)（県庁）県個人情報保護審議会について
 18. 3/15(月)・22(月)（県医）広報委員会について
 19. 3/19(金)（県庁）県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について
 20. 3/16(火)（県庁）県地域医療オリエンテーションについて
 21. 3/22(月)（県医）県臨床研修・専門研修運営協議会について
 22. 3/10(水)（県医）都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会について
 23. 3/11(木)（ニューウェルシティ宮崎）県リハビリテーション専門職協議会連絡会議について
 24. 3/17(水) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
 25. 3/18(木)（県看護等研修センター）県看護協会新人看護職員研修推進協議会について
- 医師連盟関係
（議決事項）
1. 4/20(火)（東京）次世代の医療政策を考え

る会開催のご案内について

自見はなこ議員が講師となり「新型コロナ
ウイルス感染症対策と今後の日本の医療

政策」と題して行われる国政報告会で、協
力することが承認された。

お知らせ

第22回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

宮崎県医師会医家芸術展は、会員の医師およびそのご家族から、写真、絵画、書道の3部門の作品を出展いただき開催しているもので、今年で22回目を迎えます。

今年度も下記の要領で作品を募集いたしますので、ご出展を心よりお待ちしております。

応募要領

- 1 展示期間：8月11日(水)～15日(日) 10時～18時（15日のみ15時まで）
 - 2 場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー
（宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内）
 - 3 応募作品：写真、絵画、書道
※作品の搬入・搬出につきましては、各自の責任のもとでお願いしています。
 - 4 応募資格：宮崎県医師会会員および家族（高校生以上）
 - 5 応募方法：県医師会ホームページより応募用紙をダウンロードし、FAXにてご提出ください。
【検索】⇒ [宮崎県医師会 第22回医家芸術展 作品募集](#)
- 応募用紙の郵送／FAXをご希望の方は、事務局までご連絡ください。

応募締切：令和3年5月20日(木)

応募先／問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局

TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550

県 医 の 動 き

(4月)

1	日医定款・諸規程検討委員会（Web会議） （小牧常任理事） 辞令交付式（会長） 産業保健総合支援センター辞令交付式（会長） 都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会（Web会議）（池井常任理事他）
2	日医公衆衛生委員会（Web会議）（吉田常任理事） 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 （高木常任理事）
3	All Miyazaki研修医スタートアップセミナー（Web会議）（会長他） 研修医のための説明会（Web会議） （濱田副会長他）
5	県産婦人科医会・県産科婦人科学会会計監査 （嶋本理事）
6	治験審査委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 県アイバンク協会寄付金贈呈式（会長） 第1回常任理事協議会（会長他）
7	医家芸術展世話人会（濱田副会長他）
8	日医予防接種・感染症危機管理対策委員会（Web会議）（峰松理事） 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 （金丸常任理事） 県産婦人科医会全理事会（Web会議） （嶋本理事他）
9	日医勤務医委員会（Web会議）（金丸常任理事） 九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せ（会長他）

11	日医学校保健講習会（Web会議）（高木常任理事） 職員採用試験（二次）
12	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）
13	宮大医学部医の倫理委員会（大塚理事） 県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 第2回常任理事協議会（会長他） 母体保護法指定医師審査委員会（濱田副会長他）
14	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）（濱田副会長他） 支払基金幹事会（会長）
17	県産婦人科医会春期総会・講演会（Web会議） （嶋本理事他）
19	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
20	日医理事打合会（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長）
22	県内科医会理事会（Web会議）（金丸常任理事他） 病院部会・医療法人部会合同理事会（Web会議） （池井常任理事）
23	県外科医会理事会（岩村理事） 医療秘書学院活性化のための意見交換会 （池井常任理事）
27	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第1回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他）
28	労災診療指導委員会（川野理事）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年4月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 11人

1) 男性医師求職登録数 9人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	3	1
麻酔科	1	0	1
精神科	2	1	1
老健	2	1	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 78人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	4	0	4
平成16年度から累計	57	21	78

3. 求人登録 98件 355人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	83	24	消化器外科	3	2	1
外科	29	23	6	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	355	280	75

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフロアみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮 崎 市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社) 藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年4月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年4月19日

5			月			
1	土		19	水	14:30 (東京) 全国医師国保組合連合 会国保問題検討委員会 19:00 産業医部会理事会	
2	日					
3	月	(憲法記念日)	20	木	19:00 広報委員会 (Web会議)	↑
4	火	(みどりの日)				
5	水	(こどもの日)	21	金	9:00 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会 (Web会議)	↑
6	木					
7	金		22	土	9:30 日本プライマリ・ケア連合 学会学術大会 (Web会議) 14:30 産業医部会総会・研修会 (TV会議)	国 保 審 査
8	土					
9	日					
10	月	19:00 県小児科医会生涯研修セミナー 準備委員会	23	日	9:30 日本プライマリ・ケア連合 学会学術大会 (Web会議) 13:30 県小児科医会総会・春季 学術講演会	↓
11	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 18:30 医協理事会 19:00 第3回常任理事協議会	24	月		
12	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会 (Web会議)	25	火	18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第2回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同 協議会	社 保 審 査
13	木	14:00 日医学術推進会議 (Web会議) 16:00 中国四国医師会連合隣接ブロック 担当県医師会長会議 (Web会議) 19:00 在宅医療協議会役員会 (Web会議) 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)				
14	金	15:00 日医医師会共同利用施設検討委 員会 (Web会議) 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会 (TV会議)	26	水	14:00 日本学校保健会理事会 (Web会議) 15:00 労災診療指導委員会 15:00 県認知症高齢者グループ ホーム連絡協議会理事会 (Web会議)	↓
15	土	15:30 県内科医会総会・学術講演会	27	木	19:00 在宅医療研修会企画小委 員会 (Web会議)	
16	日					
17	月	19:00 医協会計監査 19:00 県警察医会協議会	28	金	13:30 宮大学長選考会議 16:00 都道府県医師会新型コロナウイ ルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議) 19:00 県医監事監査	
18	火	13:00 日医理事打合会 (Web会議) 13:30 日医理事会 (Web会議) 15:00 都道府県医師会長会議 (Web会議)				
19	水	13:00 (東京) 国保組合推進連盟代議員会 14:00 (東京) 全国国保組合協会理事会	29	土	16:00 死体検案研修会	
			30	日		
			31	月		

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年4月19日

6			月		
1	火	16:30 日医連執行委員会 (Web会議) 18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第4回常任理事協議会	17	木	
			18	金	14:00 (東京) 全国国保組合協会通常総会
2	水				
3	木	19:00 学校医部会理事・評議員会 (Web会議)	19	土	16:00 医協通常総代会 16:20 県医連執行委員会 16:35 県医定例代議員会 17:00 県医総会
4	金		20	日	
5	土	16:00 九医連常任委員会 17:00 九州ブロック日医代議員連絡会議	21	月	
6	日		22	火	18:30 医協理事会 19:00 第5回常任理事協議会
7	月	15:00 県学校保健会理事・評議員会 16:00 県学校保健・学校安全に係る表彰審査会	23	水	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 19:00 広報委員会 (Web会議)
8	火	14:30 県がん診療連携協議会 19:00 第1回理事会 終了後 第3回全理事協議会	24	木	13:30 県移植推進財団定時評議員会
9	水	14:00 県健康づくり協会理事会 16:00 支払基金幹事会	25	金	
10	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	26	土	(東京) 九州ブロック日医代議員連絡会議 14:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会 (Web会議)
11	金				
12	土	14:00 県小児科医会子ども健康セミナー	27	日	(日医) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (日医) 日医定例代議員会
13	日				
14	月		28	月	18:30 勤務医部会会計監査 19:00 勤務医部会理事会 (Web会議)
15	火	13:00 (日医) 日医理事打合会 14:00 (日医) 日医理事会	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
16	水	19:00 広報委員会 (Web会議)	30	水	15:00 労災診療指導委員会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 5月6日(木) 19:00～21:00 県医師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 5月11日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	SDGsに必要な企業が取るべきCOVID-19への対応 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会総 会並びに特別講演 会（Web講習会） 5月15日(土) 15:45～18:15 県医師会館2階研 修室 ※受講は現地また はWeb	一過性の両上肢の震えで搬送された予後良好な高齢者 の3例 潤和会記念病院 清水 栄里 他 新型コロナウイルス感染症について 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 高城 一郎	35 (0.5) 63 (0.5) 28 (0.5) 46 (0.5)	◇主催 ※宮崎県内科医会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市郡外科医会 総会・講演会 5月17日(月) 19:30～20:30 宮崎市郡医師会館 1階講堂	当科の外傷外科診療(Acute Care Surgeryチームの活動) 宮崎大学医学部附属病院 消化管・内分泌・小児外科 講師 河野 文彰	10 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 5月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	SDGsに必要な企業が取るべきCOVID-19への対応 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第230回宮崎県泌尿 器科医会 5月20日(木) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル西 館8階「ブリリア ントホール」	腎移植の普及・啓発のために～大阪大学の取り組み～ 大阪大学医学系研究科 器官制御外科学講座 泌尿器科学 准教授 今村 亮一	10 (1.0)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 アステラス製薬(株)
令和3年度宮崎県 小児科医会総会・ 春季学術講演会 (Web講習会) 5月23日(日) 13:30～17:00 県医師会館2階研 修室 ※受講は現地また はWeb	宮崎市における学校心臓検診の現状～1枚の心電図か ら見つかる実例を含め～ たかぎ小児科・心臓小児科 院長 高木 純一 当院における小児肥満の診療について 宮崎大学医学部 小児科 明利 聡瑠 デジタルデバイスと子どもの目 平和眼科 院長 富田 香 子どもの“遊び”が危ない!!～まず大人が“遊び力”を身 につけよう～ 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊 代表 早川 たかし	44 (0.5) 23 (0.5) 36 (1.0) 72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 5月24日(月) 19:00～20:00 第一三共株式会社 関西支店 ※受講はWebのみ	片頭痛患者のアンメットニーズ ～エムガルティ登場による片頭痛診療のパラダイムシフト～ 富永病院 頭痛センター 副センター長 團野 大介	30 (0.5) 36 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 日本イーライリリー(株) 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎市郡産婦人科 医会5月総会・乳 がん検診講演会 (乳がん検診研修会) (Web講習会) 5月24日(月) 19:00～20:00 宮崎市郡医師会館 ※受講はWebのみ	乳がん検診読影のポイント(仮) 宮崎市郡産婦人科医会 会長 まつ婦人科クリニック 院長 松 敬文	9 (0.5) 11 (0.5) ⑦	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 5月24日(月) 19:00～20:20 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	不整脈における病診連携 ～ガイドラインの変更を診療に生かす～ 宮崎大学医学部附属病院 循環器内科 助教 井手口 武史	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 ブリストル・マイヤー ズスクイブ(株) ファイザー(株)
児湯内科医会学術 講演会 (Web講習会) 5月25日(火) 19:00～20:00 ホテル四季亭 ※受講は現地また はWeb	不整脈薬物治療ガイドライン2020～心房細動に関して～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 足利 敬一	40 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 ブリストル・マイヤー ズスクイブ(株) ファイザー(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 5月26日(水) 19:00～20:00 高千穂町国民健康保険病院 ※受講は現地またはWeb	高齢者の逆流性食道炎治療について 自治医科大学附属病院 消化器内科 教授 大澤 博之	52 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0975-13-0024 大塚製薬(株)
第82回宮崎整形外科懇話会 6月5日(土) 17:30～18:30 県医師会館 参加費:1,000円	骨粗鬆症性椎体骨折後の遅発性神経障害の診断と治療 日本大学医学部 整形外科学系整形外科学分野 主任教授 中西 一義	59 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 6月8日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 31 (0.5) 32 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 6月9日(水) 14:00～16:00 県医師会館	睡眠と健康について 産業保健相談員 都城新生病院 院長 河野 仁彦 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 20 (0.5) 70 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎大学医学部附属病院2021年度医療安全管理講演会 6月10日(木) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－②医療安全(必修):1単位】 航空機整備におけるヒューマンエラー対策 ～安全管理へのアドバイス～ 全日本空輸株式会社 整備センター 品質保証室 部品品質管理部 マネジャー 土方 健次郎	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院学生支援課 ☎0985-85-9795
宮崎県医師会産業医研修会 6月17日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 31 (0.5) 32 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会学術講演会～片頭痛の最新治療を考える～(Web講習会) 6月18日(金) 19:00～20:00 第一三共株式会社 日本橋ビル会議室 ※受講はWebのみ	片頭痛の診療update 荏原製作所 産業医 清水 利彦	30 (0.5) 51 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710 日本イーライリリー(株)
宮崎県医師会産業医研修会 6月24日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業環境測定と結果の活用 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月1日(木) 19:00～21:00 県医師会館	受動喫煙防止対策を効果的に進めるための禁煙支援の 仕方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	4 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月8日(木) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	作業環境測定と結果の活用 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月13日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	受動喫煙防止対策を効果的に進めるための禁煙支援の 仕方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	4 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月15日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	作業環境測定と結果の活用 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和3年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会合同学会 7月17日(土) 17:00～18:00 県医師会館2階研 修室	知っておきたい失明に繋がる眼疾患 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 池田 康博	36 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会労災部会 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 7月19日(月) 19:00～21:00 県医師会館	作業環境管理 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 6 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月21日(水) 13:30～15:30 メインホテル	睡眠と健康について 産業保健相談員 都城新生病院 院長 河野 仁彦 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 20 (0.5) 70 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月30日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 産業医 谷山 ゆかり 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



人格（パーソナリティ）障害への対応

宮崎県精神保健福祉センター 所長
宮崎県立宮崎病院精神医療センター 医長
宮崎大学医学部臨床教授

なお の けい こ
直 野 慶 子

1. はじめに

精神科医師になって間もないころ、「先生のように素晴らしい先生は初めてです」と患者に言われたことがある。ところが、その患者は数分後には「先生のように素晴らしい先生だったら、〇〇くらいしてくれますよね」と他の患者では通常しないような例外的な対応を求めたため拒否したところ、「先生なら分かってくれると思ったのに！」と私を激しく罵り始めた。その場は何とか切り抜け、医局で先輩の先生に話したところ、「それは人格障害の典型的な『理想化とこき下ろし』だね」と言われ、典型的な『理想化とこき下ろし』が現実にも目の前で起こったことに気づいた。家庭や職場などの通常の対人交流をしている際にも、「この人は人格障害かもしれない」と気づかされることもある。今回、人格（パーソナリティ）障害の病態、治療の実際、人格障害との関わり方についても言及したい。

2. 診断

精神医学では、人格障害は「本人の異常性に基づく行動パターンによって、本人自身が悩むか、周りの者や社会を悩ませるようなもの」と定義されている。決して、「性格が悪いこと」ではない。人格障害にはさまざまなタイプがあり（表1）、中核的な病態をもとに診断する。表1のB群「境界性パーソナリティ障害」の診断基準を表2に示す。本稿では、人格障害の歴史的成り立ちにおいて重要で、最も研究がなされている境界性人格障害について主に記す。

人格障害は、「全か無か」という二極性の極端に偏った認知、感情の不安定さ、対人関係機能・衝動制御に問題を抱えている。人格障害の方は自らも苦しむと同時に、周囲の人を巻き込む「操作性」がある。

例えば、自殺をほのめかし相手を心理的に

コントロールするという行動様式を繰り返す事例も多い。人格障害の行動様式の基盤にあるのは「見捨てられ不安」であり、対人場面で相手が自分と距離をおこうとしていることを敏感に察知し、「自分と別れるなら死んでやる」と自殺を企図することもある。また、「あなたただけにお話しします」「あなたに初めてお話しします」と相手をひきつけ、自分の幼少期のトラウマ体験などを初対面に近い人に話すなど、他人の心を動かすことに長けている。そのような話を聞いて同情し、操作されてしまうと、要求はますますエスカレートし、操作される側も心理的に追い詰められてしまうこともよく見られる。

3. 限界設定

このような人格障害の方とどのように関わればよいのか、一番の対処法としては「関わらない」ことかもしれない。しかし家庭や職場などで関わらざるを得ない場合、最も大事なことは「限界設定」と「チームで同じ対応をすること」である。人格障害の方の相手に対する要求はエスカレートするので、「ここまではできるが、これ以上はできない」という「限界設定」を明確にし、家族や職場などのチームで「限界設定」を共有し、皆が同じように本人に対応することが重要である。このように限界設定をしたうえで、本人に一貫した態度で接するというのが、本人の気づきを促す可能性はある。

4. 治療

人格障害の治療について、高いエビデンスレベルの薬物療法は存在しない。個人精神療法（心理療法）が重要な役割を果たすが、年単位にわたることが多く、治療者にとっても根気の要るものとなる。限界設定や行動化（自傷・自殺企図など）への対応、攻撃性や衝動性のコントロール、現実検討識の獲得も

さまざまな形で行われている。

薬物療法は、攻撃性や衝動性などの症状の一部を緩和する効果が期待される。新規抗精神病薬、気分安定薬などを処方されることが多い。ベンゾジアゼピン系の抗不安薬や睡眠薬は脱抑制を助長し、かえって攻撃性や衝動性を上げてしまう恐れもある。

家族に対して本人に操作されないように教育したり、本人が精神科デイケアなどでのSST（Social Skills Training:社会生活技能訓練）を受けて対人場面でのスキルを学ぶことも重要である。

5. どのように関わればよいか？

人格障害への対応は本人の人格面での成長を促すため、長期にわたる。長期的な視点で持続可能な関わり方を作っていくことが重要である。その関わり方が、社会で一般的なものか（社会的に逸脱していないか）、無理が生じていないかをチェックすることが重要だ。社会的に許容できない行動に対しては、それを注意するという一般的な対応をすべきだが、同時に自分自身が傷つかないようにも注意すべきだ。

人格障害の方に一人に対応すると心理的な負担も大きいので、相談機関に相談したり、家族・職場などのチームで対応することも重要である。

6. おわりに

若いころに自殺企図を繰り返した人格障害の方も、30～40歳代になると行動様式が変化して「それなりの社会適応」ができるようになることも臨床上、多くみられる（晩熟現象）。人格障害について、本人の性格の偏りに根差しており、長期的な関わりが必要とされるのを理解したうえで、専門家としての精神科医以外にも、他科の医師の支援や、学校保健・職場保健・地域保健の立場からのサポートが存在することは極めて重要である。

表2. DSM -5の境界性パーソナリティ障害の診断基準（簡略化されたもの）

- (1) 見捨てられることを避けようとする懸命の努力。
 - (2) 理想化とこき下ろしとの両極端を揺れ動く不安定な対人関係。
 - (3) 同一性障害(自己像や自己感覚の不安定さ)。
 - (4) 自己を傷つける可能性のある衝動性で、浪費・物質乱用といった行動。
 - (5) 自殺の脅し、自傷行為の繰り返し。
 - (6) 著明な感情の不安定性。
 - (7) 慢性的な空虚感。
 - (8) 不適切で激しい怒り。
 - (9) 一過性の妄想様観念または重篤な解離症状。
- ※上記の5つ以上で境界性パーソナリティ障害の診断の条件を満たす。

表1. パーソナリティ障害のタイプの概略（米国精神医学会の診断基準 DSM-5）

A群クラスター： 奇妙で風変わり	妄想性 パーソナリティ障害	他者への疑念や不信から、危害が加えられることや裏切りを恐れることが特徴
	統合失調質 パーソナリティ障害	非社交的、孤立しがちで、他者への関心が希薄のように見えるのが特徴
	統合失調型 パーソナリティ障害	思考が曖昧で適度に抽象的で脱線する、感情が狭くて適切さを欠き、対人関係で孤立しやすいことが特徴
B群クラスター： 演技的・感情的で移り気	境界性 パーソナリティ障害	感情や対人関係の不安定さ、衝動をうまく制御することができないのが特徴
	自己愛性 パーソナリティ障害	周囲の人々を軽視し、周囲の注目と賞賛を求め、傲慢で尊大な態度を見せることが特徴
	反社会性 パーソナリティ障害	他者の権利を無視、侵害する行動や、向こう見ずで思慮に欠け、暴力などの攻撃的行動に走ることが特徴
C群クラスター： 不安で内向的	演技性 パーソナリティ障害	他者の注目や関心を集める派手な外見や大げさな行動が特徴
	依存性 パーソナリティ障害	他者への過度の依存、自らの行動や決断に他者の助言や指示を求めることが特徴
	強迫性 パーソナリティ障害	一定の秩序を保つことへの固執、融通性に欠けること、几帳面、完全主義や細部への拘泥が特徴
	回避性 パーソナリティ障害	周囲からの拒絶や失敗をすることを恐れ、強い刺激をもたらす状況を避けることが特徴

宮大医学部学生のページ



2020年度国家試験の結果報告と課題

宮崎大学第116回国家試験対策委員会 委員長 かじ 梶 た 田 りょう 凌

第115回医師国家試験において国試対策委員を務めました梶田と申します。この場をお借りして第115回医師国家試験のご報告をさせていただきますと思います。

2020年2月6、7日に第115回医師国家試験が実施され、3月16日に合格発表がありました。宮崎大学からは新卒生（111名）と既卒生（13名）合わせて計124名が受験しました。結果としましては、以下の表1のようになっています。新卒・既卒ともに全国平均を上回る結果となりました。既卒生にしましては全国平均を大きく上回る結果となり、新卒生にしましては、ここ5年の宮崎大学の合格率の中で最も高く、受験生各人の努力がしっかりと結果に出たと思われます。

表1 宮崎大学の第115回医師国家試験合格率

2020年度	総数	新卒のみ	既卒のみ
宮崎大学	94.4%	97.3%	69.2%
全国平均	91.4%	94.4%	54.5%

第115回医師国家試験に関して予備校の講評によりますと、形式が大きく変わったことはなかったが、細かい知識が問われる問題が増えて

いたり、去年に引き続き英語の出題が増えたり等の変化があるとのことでした。英文読解能力や医学英語の理解がより求められてきていると考えられます。

表2に今年を含めた過去5回の宮崎大学と全国平均の合格率を示します。

全国平均はわずかに低下していますが、あらためて宮崎大学の今年の合格率が大きく上昇していることが分かります。全国平均としては2日間・400問の体制になってから4回目ですが合格率としては2番目に高い結果となりました。

さて、新年度受験生となった6年生とともに国試に向けてこれから活動していくにあたって、来年の医師国家試験では今年よりも更にいい結果をご報告できるように、国試対策委員一同精一杯サポートさせていただく所存です。今年は新型コロナウイルス対策の影響で、例年どおりのサポートができない中、できる限りのサポートをさせていただきました。来年の医師国家試験において全国的にどういった状況になっているかは全く分かりませんが、第115回と同様にできる限りのサポートができるように準備していこうと考えております。また国試期間中だけでなく、国試に至るまでの期間においても正しい情報や受験生にとって必要な情報をしっかりと整理して、少しでも受験生の不安を取り

除き安心して国試を迎えられるように支援していくことができると考えております。

現在、宮崎大学医学部の教務委員会の先生方を中心に、十分に知識を確保して国試に臨めるよう5、6年生の進級や卒業の見直し、コロナ対策に関しての話し合いが絶えず行われています。また、今年度も医学部同窓会である篠懸会から外部模試の負担をしていただくなど、多くの方から学生の支援をしていただいております。先生方や先輩方の支援を無駄にしないよう、また、最大限に活用できるように大学との

意見交換を進め、活動していきます。

宮崎大学医学部の学生の国家試験の結果には、大学の関係者や地域の方々、宮崎県全体から大きく期待されていることと思います。その期待にしっかりと応えられるように、これからも精進してまいります。昨年度同様、大学や受験生にはたくさんのご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、より良い活動を目指していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

表2 宮崎大学の医師国家試験合格者の推移（過去5回分）

	第115回（今年）	第114回	第113回	第112回	第111回
総数	94.4%	89.2%	83.7%	87.2%	87.7%
新卒のみ	97.3%	94.4%	85.2%	89.2%	94.2%
既卒のみ	69.2%	63.6%	73.3%	69.2%	27.3%
全国平均	91.4%	92.1%	89.0%	90.1%	88.7%



2月7日国試対策委員部屋にて



昨年度の国対幹部（現6年生）

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
3月1日	・令和2年度地域医療提供体制確保のための看護師等養成所におけるICT等の整備事業の交付申請書の提出について ・「会社法の一部を改正する法律及び会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」の公布について ・共済組合員証の無効通知について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その35） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その36） ・3月のダイヤ改正に伴う終電時間の繰り上げについて ・放射線障害防止対策に係る都道府県等衛生主管部局との連携について ・4月以降の当面の相談・外来診療体制について ・医療従事者等向け接種を実施するための新型コロナワクチンの出荷（第1弾）について ・令和3年福島県沖を震源とする地震にかかる予防接種の取扱いについて ・東日本大震災における原子力災害により避難している方への新型コロナウイルスワクチンの接種の取扱いに係る周知のお願いについて ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版」の周知について ・経腸栄養分野の小口径コネクタ製品に係る旧規格製品の出荷期間の延長について
3月2日	・日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第3号】 ・日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第4号】 ・日本医師会新型コロナウイルスワクチン速報【第5号】 ・風しんの追加的対策に係る令和3年度の対応について ・高齢者向け接種を実施するための新型コロナワクチンの出荷について ・改正後の感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症に関する自費検査を提供する者に対する協力要請等について ・「令和2年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」の交付申請書の提出期限の延長等について ・令和3年栃木県足利市における大規模火災による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について ・押印を求める手続きの見直しのための厚生労働省関係省令の一部改正等について（子ども家庭局） ・リーフレット「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策～妊婦の方々へ～」の改訂（令和3年2月時点）について ・令和3年栃木県足利市における大規模火災による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
3月3日	・入会案内パンフレット『ドクターゼ別冊』改訂版の送付並びに医師会入会促進に向けた協力依頼について ・COVID-19 JMAT派遣隊員向け補償制度について ・離島等における新型コロナウイルスワクチン接種の取扱いについて

送付日	文 書 名
3月3日	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その57）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その58）」の送付について ・オンライン資格確認導入に向けた追加補助の締切等に関するリーフレット等の送付について ・医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議における中間とりまとめについて ・「学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施等に係る対応について（周知依頼）」の送付について ・「日本地域包括ケア学会第2回大会」の開催について ・感染症法における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて（一部改正） ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域変更について
3月4日	・特定健康診査及び特定保健指導等における新型コロナウイルス感染症の感染予防の注意喚起について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その59）」の送付について ・特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づく給付金制度の周知・広報のためのリーフレット等の送付等について ・第9次粉じん障害防止総合対策の推進に係る講習動画配信の周知 ・COVID-19 JMAT派遣先（高齢者施設・福祉施設等）の明確化について ・介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修について ・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）操作マニュアルについて
3月5日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
3月8日	・「会社法の一部を改正する法律及び会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」の施行にかかる関係通知の改正について ・新型コロナウイルス感染症の患者に対する費用の請求事務について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第3.1版）」及び唾液検体の採取方法について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・東日本大震災により被災した被保険者の利用者負担等の減免措置に対する財政支援の延長等について ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行令の一部を改正する政令の公布について（へき地の医療機関への看護師等の派遣，社会福祉施設等への看護師の日雇派遣）
3月9日	・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長について ・新型コロナウイルス感染症の研究用抗原検査キットに係る留意事項について ・令和3年新潟県糸魚川市における地滑りによる災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その37） ・材料価格基準の一部改正等について ・「「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について」等の一部訂正について ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会医療法人における救急医療等確保事業の実施について

送付日	文 書 名
3月10日	・保健師助産師看護師学校養成所指定規則等改正に伴う看護師等養成所の実習施設責任者向け説明会の開催について ・宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業（令和2年度実績）に係る調査について ・みやざきオレンジドクターの登録について ・電離放射線健康診断結果報告書様式の改正について ・次期指定難病患者データベース及び小児慢性特定疾病児童等データベースに係る情報提供について
3月11日	・予防接種会場での救急対応に用いるアドレナリン製剤の供給等について ・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の国内での発生状況について ・保険医療機関コード等が存在しない接種施設のV-SYS上の取り扱いについて ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（都道府県実施・市町村実施）の上限額等について ・事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する件について ・令和3年「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の実施について ・「使用上の注意」の改訂について ・医療事故調査制度に関する管理者向け研修への参加の推進等について
3月12日	・健康増進施設認定要件についての健康スポーツ医向けアンケート調査協力依頼について ・令和2年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準等の取扱いについて ・第9回「日本医師会赤ひげ大賞」テレビ番組放映のお知らせ
3月15日	・母体保護法第14条における配偶者の同意について ・マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進について ・全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱の一部改正について ・令和2年度医療介護提供体制改革推進交付金（地域医療介護総合確保基金）の交付要綱等の一部改正について ・NBCR対策推進機構第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について ・医療従事者等向け接種を実施するための新型コロナワクチンの出荷（第2弾）について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査に関するQ&Aについて（その4） ・退院患者の介護施設における適切な受入等について（一部改正） ・高齢者向けの新型コロナウイルス感染症に係る予防接種のためのワクチンの出荷（4月5日の週から4月19日の週）について ・「介護現場における感染対策の手引き（第2版）等について」等について ・高齢者施設への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について（改正） ・「令和2年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」の交付申請書の提出期限の再延長等について ・融雪出水期における防災態勢の強化について ・「科学的介護情報システム（LIFE）」の活用等について
3月16日	・厚生労働省共済組合員証の無効について ・日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告・令和2年度その2） ・政策・方針決定過程への女性の参画の拡大について ・「地域医療介護総合確保基金（介護従事者の確保に関する事業）における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施の一部改正について」（令和2年度第三次補正予算分）の送付について

送付日	文 書 名
3月17日	・医薬品等の注意事項等情報の提供について ・新型コロナワクチンの今後の出荷予定について ・令和3年度スポーツによる地域活性推進事業「医療と連携した地域におけるリスクに応じた運動・スポーツの取組」における協力依頼について
3月18日	・「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴う介護職種における入国後講習の時間数の免除に係る取扱いについて ・老人福祉法施行規則等の一部を改正する省令の公布について ・新型コロナウイルス感染症の変異株流行国・地域に滞在歴がある入国者の方々の健康フォローアップ及びSARS-CoV-2陽性と判定された方の情報及び検体送付の徹底について ・ポリ塩化ビフェニル（PCB）使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理について
3月19日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その60）」の送付について
3月22日	・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について ・「特定認定再生医療等委員会におけるヒト多能性幹細胞を用いる再生医療等提供計画の造腫瘍性評価の審査のポイント」改訂について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その61）」の送付について ・「会社法の一部を改正する法律及び会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」の施行にかかる関係通知の改正について ・障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について（改正） ・ワクチン接種円滑化システムにおける施設類型情報の変更について ・新型コロナワクチンの配分について（医療従事者等向け第3弾及び高齢者向け第2・第3クール） ・予防接種会場での救急対応に用いるアドレナリン製剤の供給等について（その2） ・「令和2年度インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金」の終了について（「4月以降の当面の相談・外来診療体制について」の再周知） ・新型コロナウイルス感染症（変異株）に関する国立感染症研究所による医療機関に対する積極的疫学調査への協力依頼等について ・コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）（コミナティ筋注）の接種に伴うアナフィラキシーの発生について ・第52回全国学校保健・学校医大会の開催につきまして ・医療的ケア児（者）が障害福祉サービス等を利用する上での医療的ケアの必要性等に係る判定について
3月23日	・サリドマイド製剤等の個人輸入を行う医師等に対する安全管理及び適正使用の徹底について ・「治療と仕事の両立支援のための「地域両立支援推進チーム」の設置について」の一部改正に係る周知等について
3月24日	・令和2年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示（2回目）について ・ワクチン接種記録システム（VRS:Vaccination Record System）について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その38） ・アフターケア委託費のオンライン請求開始に伴う労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について ・冊子『感染症に負けない丈夫なからだをつくろう！』の送付について

送付日	文 書 名
3月25日	・令和3年度復職支援研修の開催について ・移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について ・「生殖補助医療の提供等及びこれにより出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する法律」の施行について ・抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤（バベンチオ点滴静注200mg）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・オンライン資格確認導入に向けた追加補助の締切及び顔認証付きカードリーダー申請に関する補足について ・NBCR対策推進機構第4回「消防職員等や医療従事者のためのCBRNEテロ・災害と現場の対応担当者養成講習会」の開催について ・NBCR対策推進機構第8回「消防職員等や医療従事者のための爆発物災害対策講習会」の開催について
3月26日	・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第19報） ・宮崎県遠隔手話サービスパンフレット等の送付について
3月29日	・「新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心して受けるために」の送付について ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の終了に伴うテレワーク等の推進について ・厚生労働省「オンライン診療を行う医師向けの研修の受講」について ・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）における「現在のステータス」情報の入力徹底について ・保険医療機関コード等が存在しない接種施設の手続きについて ・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・「予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令」の公布について ・「情報通信機器（ICT）を利用した死亡診断等ガイドライン」にかかる当面の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に係る後方支援医療機関の確保に関する自治体の実践例や、G-MISの調査項目追加について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その39） ・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」制定について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の保険適用に伴う費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について ・日本内科学会による指定を受け日本内科学会総合内科専門医の更新に必要な単位を取得できる講演会におけるWEB講習の取扱いについて
3月30日	・医療法人の設立等認可に係る医療審議会の開催時期等について ・高齢者向け接種を実施するための新型コロナワクチン等の配分について（4月26日の週および5月3日の週） ・令和3年4月介護報酬改定に関する報酬の告示等の送付について ・風しんの追加的対策に係る令和元年度及び令和2年度に発行されたクーポン券の取扱いについて ・新型コロナワクチンの接種順位の上位に位置付ける基礎疾患を有する者の範囲について ・「新型コロナワクチン予診票の確認のポイントVer1.0」について
3月31日	・サリドマイド製剤等の個人輸入を行う医師等に対する安全管理及び適正使用の徹底について ・数量にかかわらず厚生労働省の確認を必要とする医薬品の追加について ・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・「令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」の実績報告書の提出期限の改正等について ・新型コロナウイルス感染症の軽症者等に係る宿泊療養及び自宅療養の対象並びに自治体における対応に向けた準備についてに関するQ & Aについて（その10）

送付日	文 書 名
3月31日	・「令和2年度予算執行調査」における地域医療介護総合確保基金（医療分）に対する指摘を踏まえた今後の対応について ・「予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令」の公布等について ・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について ・小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る新たな公費負担者番号及び受給者番号の設定等について ・令和2年度狂犬病予防業務担当者会議について ・学校保健における運動器検診時に保護者へ配布する調査票に同封いただきたいリーフレット「運動器検診とロコモ」について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・医療法第六条の五第三項及び第六条の七第三項の規定に基づく医業，歯科医業若しくは助産師の業務又は病院，診療所若しくは助産所に関して広告することができる事項の一部を改正する件について ・医療事故の再発防止に向けた提言第13号の公表について ・被保険者証の印字内容の変更について ・アフターケア委託費のオンライン請求開始に伴う労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る労災診療費等の臨時的な取扱いについて ・「労災保険二次健康診断等給付担当規程」の一部改正について
4月2日	・令和3年度日本医師会会費徴収について ・日本医師会会費減免の手続き及び会費減免を受けるA①，A②(B)，A②(C)会員の医賠償保険加入の手続きについて ・日本医師会認定健康スポーツ医制度実施に当たっての留意事項更新の特例措置について ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行令第二条第二項の市町村を定める省令の一部を改正する省令の施行について ・保険医療機関等における被扶養者の資格確認等における留意点について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第24回報告書」の周知について ・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・オンライン資格確認のプレ運用の継続ならびに，顔認証付きカードリーダーに係る「機種未定」への変更申込みに関する周知について ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その35）」の一部訂正について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正等について ・医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助について ・令和2年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金の実績報告書の提出について ・みやざきオレンジドクターの登録について ・認知症サポート医の一覧について ・新型コロナウイルスワクチンの接種体制の構築にかかる歯科医師の協力について ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後副反応疑い報告書の記載方法について ・飲食の場面及び職場におけるコロナ感染症対策に係る周知依頼について ・高齢者向け接種を実施するための新型コロナワクチンの割り当て手続きについて（第2クール（4月12日の週及び第3クール（4月19日の週）の出荷分に係る対応） ・4月以降の高齢者施設等の検査について ・リーフレット「新型コロナワクチン接種を予約された方へ」の周知について ・「科学的介護情報システム（LIFE）」の活用等について（その3）

送付日	文 書 名
4月5日	・ワクチン接種後に新型コロナウイルス感染症と診断された症例に関する国立感染症研究所による医療機関に対する積極的疫学調査への協力依頼について ・「予防接種実施規則第5条の2第2項に基づき行われる児童相談所長等の予防接種に係る同意について」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における問診等の予診に関する留意事項について ・新型コロナウイルス変異株流行国・地域に滞在歴がある入国者の方々の健康フォローアップ及びSARS-CoV-2陽性と判定された方の情報及び検体送付の徹底について ・新型コロナウイルス感染症に対応する介護施設等の職員のためのサポートガイド等について ・「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の見直しについて ・訪日外国人受診者の医療費不払いに対する予防策の周知及び不払いが発生した場合の報告方法について ・「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について」の送付について ・厚生労働省委託事業「医療分野における適正な有料職業紹介事業者の基準」について ・令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・「妊婦の診療に係る医療提供体制整備事業」について
4月6日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・令和3年度介護報酬改定に関する通知等の送付について ・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における検体提出等について ・令和2年度インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金の実績報告の期限について ・令和3年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その62）」の送付について ・島根県松江市における大規模火災による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて
4月7日	・「看護の日・看護週間」事業みやざきナースToday2021開催に伴うポスター及びチラシの送付について ・「妊産婦のための食生活指針」の改定および母子健康手帳の任意記載事項様式について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その40） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その41） ・医療法第六条の五第三項及び第六条の七第三項の規定に基づく医業、歯科医業若しくは助産師の業務又は病院、診療所若しくは助産所に関して広告することができる事項の一部を改正する件について ・医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について（特定機能病院及び地域医療支援病院・医療機能情報提供制度） ・社会医療法人、特定医療法人及び認定医療法人が満たすべき要件について、及びオープン病院事業法人及び福祉病院事業法人が行う医療保健業で収益事業に該当しないものの要件について（通知）－新型コロナウイルス感染症対策に対応する補助金収入の特例的取り扱い－ ・「社会医療法人の認定について」の一部改正について－新型コロナウイルス感染症の影響に伴う救急医療等確保事業に係る業務の実績に係る要件の特例－ ・ワクチン接種記録システム（VRS）へのご協力をお願い ・「児童生徒等の健康診断時の脱衣を伴う検査における留意点について」の周知について

送付日	文 書 名
4月7日	・ワクチンの使用用途制限の緩和等について ・新型コロナワクチンの接種に伴いアナフィラキシーを発症した者の搬送体制の確保について ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第20報） ・令和2年度インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業の実績報告書提出について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業の実施について
4月8日	・「社会保険診療報酬支払基金法第十五条第三項の規定に基づき厚生労働大臣の定める医療に関する給付等の一部を改正する告示」の告示について ・予防接種会場での救急対応に用いるアドレナリン製剤の供給等について（その3） ・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンに関する定期接種の対象者及びその保護者に向けたお知らせ文書について ・ワクチンの使用用途制限の緩和等について ・「地域医療介護総合確保基金（介護従事者の確保に関する事業）における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施の一部改正について」の送付について ・日本医師会 新型コロナウイルス ワクチン速報【第6号】 ・日本医師会 新型コロナウイルス ワクチン速報【第7号】 ・「特定認定再生医療等委員会におけるヒト多能性幹細胞を用いる再生医療等提供計画の造腫瘍性評価の審査のポイント」の改訂について ・令和3年4月からの『科学的介護情報システム（LIFE）』の稼働等について ・島根県松江市における大規模火災による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・「医療従事者のための新型コロナウイルスワクチンを安全に接種するための注意とポイント」について ・「新型コロナウイルス感染症の検査体制整備に関する指針」について ・映画「いのちの停車場」特別鑑賞券のご案内
4月9日	・「保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省標準規格）について」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種に伴い排出される廃棄物の処理について ・「保険者番号等の設定について」の一部改正について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第24回報告書」の周知について ・「使用上の注意」の改訂及び訂正について ・緊急時に輸血に用いる血液製剤を融通する場合の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第24条第1項の考え方及び地域の実情に応じた血液製剤の安定供給に係る取組事例について

 あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	c	d, e	e	a	b	c	b, c, d	b	d

あとかき



松山英樹 マスターズ優勝！ 世界中のプロゴルファーであれば、誰もが夢見るメジャータイトル。それを彼は初出場してから10年目という節目で手にしました。10年前は、東日本大震災の直後、アマチュア選手として出場し、ローアマチュア（アマチュアで最高位）のタイトルを獲得しました。その年の6月には女子サッカーのワールドカップがドイツで開催され、日本代表

がアメリカとの決勝戦で、土壇場で同点に迫につき、PK戦を制して初優勝を飾りました。なぜこのような偉業を彼ら彼女らは達成できたのか？ ここで共通することは、東日本大震災があったということ。決してその出来事が良かったとは言えません。しかし、人は自分のために何かを成し遂げようとしたときには、なぜか力が発揮できません。誰かのためにと、利他のために向かう先では、思いもよらない力が湧いてきます。松山英樹選手も、インタビューで10年前にマスターズに出場させてくれた地元の方々への感謝も語っていました。日本女子サッカー代表の選手たちも、自分たちのプレーで日本を元気づけたいと試合に臨んでいました。柔道金メダリストの古賀稔彦さんの息子である古賀玄輝選手も、父稔彦さんが亡くなった直後に、日本体重別選手権で初優勝を飾りました。このコロナ禍の中、誰かのためになんて考えられないことばかりかもしれませんが、何か行動する前に、誰が喜んでくれるかなと、ふと思いを寄せると何かが変わるかもしれません。しかし、私のゴルフのプレーが良くても誰も喜んでくれないし、悪ければ嬉しそうなお仲間のために、スリーパットはできません！（野村）

* * *

当院かかりつけ患者さんのお母さんが新型コロナワクチン接種を受けたので、どうだったのか聞いてみた。すると、1回目は接種された腕が上がらなくなり、2回目は3日間高熱が続いて寝込んだと教えてくれた。未接種の私が「聞かなければよかった」と言うと、「先生、おもしろい」と返された。いや、面白いじゃないんですよ、不安でいっぱいになりました。と、心の中でつぶやいた。接種に対する意欲？を一気に削がれた瞬間であった。（山崎）

* * *

当院にはパートさんを含めて医療事務が3人います。そのうちの2人が3月いっぱい辞めることになり募集したのですが、今本当に医療事務希望者がいないようで応募がなく、派遣会社に依頼しても“希望者がいません”の返事でした。最終的には何とか応募者が見つかりましたが、4月は外来患者数の制限や一部休診などの対応に追われました。“スタッフに感染者が出ての休診”は考えていましたが、こんな形でコロナの影響を受けるとは、とにかく早い収束を祈るのみですね。（高橋）

* * *

いつから日本人は、人の揚げ足取りばかりするようになったのでしょうか。コロナ禍のストレスのため、SNS、週刊誌の影響なのか、最近更に増悪しています。失うものはあっても得るものはないことに気づいてほしいです。人の事をとやかく言うより、建設的な意見を出し合い、みんなで高め合い、協力し合い、困難に立ち向かう世の中になってほしいと常に思っています。一人でも多くの方にご賛同いただけますとうれしいです。（石田）

今年から、宮崎に待望のJリーグチームが誕生しました。新富町を本拠地とするテゲバジャーロ宮崎です。これにより、九州・沖縄全県にプロサッカーチームが揃い、盛り上がりを見せています。4月11日現在、15チーム中3位という好成績を収めているので、昇格の勢いそのままに、これからも勝ち点を積み上げてほしいと思います。スタジアムグルメなども楽しめるので、週末はユニリーバスタジアム新富へ応援に行ってみてはいかがでしょうか。（横山）

* * *

今年度から広報委員になりました、医学科4年の安藤菜々子です。私は軟式テニス部の部長を務めているのですが、昨年度はほとんど大会が開催されず、大した役目も果たさずに幹部を交代することになりそうです。残念ではありますが、気持ちを切り替えて今年は勉強に励みたいです。広報委員として力不足なところがあると思いますが、どうぞよろしくお願いします。（安藤）

* * *

開業して以来唯一続けられていることがひとつある。週3-4回の約30分間のスイミングである。全身運動でもあり、62歳の泳ぎであってもクロール5.8METs、平泳ぎ5.3METsを考えると短時間であるがある程度のカロリー消費が得られる。心身ともにリフレッシュでき、家飲みの酒の味が格別になると思っているのも事実である。（高木）

（高木）

今月のトピックス

COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き（4月6日現在）

新型コロナウイルス感染症に係わる県医師会の動きについて県医師会常任理事の吉田建世先生に教えていただきました。4/15現在、本県でも複数名の変異株感染者が報告されています。また再感染か再燃かは不明ですが、治癒後数か月しての再陽性例も報告されております。ワクチン接種が始まったとはいえ、まだまだ予断を許さない状況が続くようです。

4 ページ

エコー・リレー

スカイダイビング！すごいですね～。20年以上前ですが卒業旅行でオーストラリアに行った時に、本場のバンジージャンプを体験しました。ジャングルに組まれた40メートルくらいのやぐらの上から両足をロープで結んだ状態で飛ぶスポーツ？です。一緒に行った友人が直前でとりやめて“チキンボーイ”と言われていたこともあって、“大和魂みせてやる～”と蛮勇をふるってダイブしてしまいました。当時を思い出すと、今でも冷汗が出ます。

9 ページ

診療メモ 人格（パーソナリティ）障害への対応

人格（パーソナリティ）障害への対応について宮崎大学医学部臨床教授の直野慶子先生に教えていただきました。診断、治療とも一般医には難しそうですが、疑わしい方にとりあえずベンゾジアゼピンなどの処方には慎まなければならないことは肝に銘じておきます。

66 ページ

日 州 医 事 第861号 (令和3年5月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副 委 員 長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎、木村 桃子、平井 昂也、安藤菜々子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）